

会長のページ 医神祭について	稲倉 正孝	3
日州医談 県内 2 次医療圏毎の人口推移	富田 雄二	4
エコー・リレー(439)	津曲 孝康, 高崎 直哉	11
メディアの目 キャンプ見学で考えたこと	蔵本 泰慶	12
国公立病院だより(県立宮崎病院)	豊田 清一	18
宮崎大学医学部だより(解剖学講座超微形態科学分野)	澤口 朗	20
専門分科医会だより(泌尿器科医会)	中山 健	21
診療メモ 宮崎県の地域医療を充実し, 発展させるために必要なことはなにか	長田 直人	68

叙勲・祝賀	6
表彰・祝賀	8
あなたできますか?(平成 22 年度医師国家試験問題より)	13
宮崎県感染症発生動向	14
各都市医師会だより	16
薬事情報センターだより(298) 関節リウマチ治療に用いられる生物学的製剤	22
第 3 回各都市医師会長協議会	23
平成 23 年度九州学校検診協議会第 2 回専門委員会	25
九州各県医師会学校保健担当理事者会	28
九州医師会連合会第 32 回常任委員会	30
平成 23 年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	32
日医 FAX ニュースから	38
医師協同組合だより	40
理 事 会 日 誌	42
県 医 の 動 き	47
追悼のことば	48
会員の異動・変更報告	50
ドクターバンク情報	51
行 事 予 定	55
ベストセラー	57
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	59
医師国保組合だより	67
あ と が き	72
~~~~~	
お知らせ 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ .....	29
宮崎県医師会医療情報コーナー .....	31
宮崎県医師会メーリングリストのご案内 .....	37
カット, イラストの募集 .....	57
郡市医師会への送付文書 .....	70

## 医 師 の 心 得

- 1 . 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品 書〕

### 浅みどり はつしほそむる春雨に

浅みどり はつしほそむる春雨に  
野なる草木 楚色まさりける

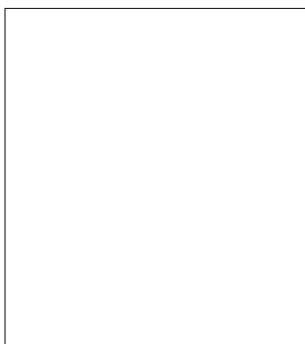
(土御門院の歌)

師に戴いた手本をみて練習しますが、当初は万葉  
仮名の文字に途惑い、歌の意も十分に把握しないま  
ま練習します。清書の段階になってようやく文字に  
なじみ、歌の気持が心に入ると筆の運びが少  
しずつ滑らかになってきます。そこで何となくほっ  
とした気分になります。

延岡市 白 嵩 芳 剛

## 会長のページ

## 医神祭について

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

宮崎県医師会では、昭和 12 年頃から信楽焼の「大穴牟遲神」(オオナムチノカミ)を祭神として医神祭が行われています。杉田直会長(昭和 6 ~ 17 年)の頃です。この「大穴牟遲神」は、もともと昭和 11 年 5 月 30 日に開催された関西医師大会で、出席者に記念品として贈呈されたものですが、この神像が大変好評だったため、担当の滋賀県より取り寄せ、昭和 11 年 10 月 16 日に開催された九州医師大会において各県へ一斉に贈られたものです。

医神祭は、敗戦・戦後の混乱などで、忘却と復活を繰り返しましたが、昭和 49 年 4 月、内田醇先生の会長就任と同時に再度復活し、古事にならい 3 月 4 日に開催していましたが、平成 18 年度より、2 月 25 日の創立記念医学会の際に執り行っております。

「大穴牟遲神」とは？

出雲神話に登場する大国主神(オオクニヌシノカミ)の若い頃の名前。

大国主神は、天の象徴である天照大御神(アマテラスオオミカミ)に対し、大地を象徴する神格です。

大国主は、たくさんの別名を持っています。国造りに関わった複数の神々を 1 つにして生まれたのが大国主神と考えられています。神話時代の後、律令国家になってから、神と仏は同一のものとする神仏習合の思想が広まりました。大国主神の「大国」が「だいこく」と読めることから、仏教の大黒天と同一視されるようになったとのこと。「大穴牟遲神」は因幡の白兔の話で有名です。

「大穴牟遲神」を医神とする理由は？

大国主の別名「大己貴命」(オオナムチノミコト)は遠く神代において早くも本邦独特の療病の方を定められ、その施されたる仁術は明らかに本邦の医祖たることを証しています。古事記・日本書紀では、「大己貴命」の仁徳を伝えており、更に天神の胤なる少彦名命(スクナヒコナノミコト：薬神)の輔を得て、共に力を協せ、天神の命を奉じて国土経営に着手すると共に、医術を以って衆生を済度されました。

3 月 4 日とは？

昭和 8 年 3 月 4 日、杉田玄白・前野良沢らが小塚原刑場において死刑囚の解剖を見学しました。後にオランダの医学書「ターヘル・アナトミア」を翻訳し「解体新書」として刊行しています。

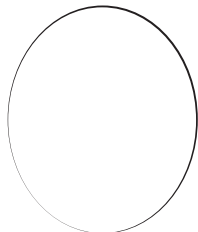
2 月 25 日とは？

記録によると、宮崎県会議事堂で明治 22(1889)年 2 月 25 日より 4 日間にわたって、57 名の医師が集まって第 1 回連合医会総会が開催されたとのこと。12 年前の当時としては、驚異的なことと思われます。その後、明治 40(1907)年に宮崎県連合医会が宮崎県医師会と改称、新設されて今日に至っています。宮崎県医師会創立記念医学会は、秦喜八郎前医師会長の発案にて、毎年 2 月 25 日に開催されています。第 1 回医学会は平成 18 年 2 月 25 日に開催され、今年度で第 6 回目となりました。医神祭、県医学賞表彰、医学賞講演、特別講演が行われています。

年に 1 回は、我々の生業を司る医神に感謝する機会を持ちたいものです。

(平成 24 年 3 月 2 日)

## 日州医談



## 県内 2 次医療圏毎の人口推移

副会長 富 田 雄 二

少子高齢化が進む中で、宮崎県内 2 次医療圏毎の人口推移を考えてみたいと思います。その前に、日本の高齢者人口の推移予測によれば、3 年後の 2015 年には「ベビーブーム世代」が前期高齢者（65～74 歳）に到達し、その 1 年後（2025 年）には高齢者人口は約 3,500 万人に達するとされています。特に 75 歳以上の人口増加が顕著です（図 1）。これまでの高齢化の問題は、進展の「速さ」の問題でしたが、今後は「高さ（高齢者数の多さ）」が問題となります。

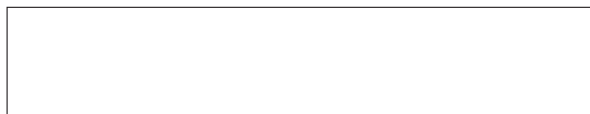


図 1 全国の人口推移予測（千人）

ところで、高齢化と言えば地方の問題と考えがちですが、国の関心事は都市における高齢者増加にどう対処するかであります。図 2 に示すように、今後は大都市圏で高齢者人口が大幅に増加します。高齢者は医療・介護必要度が高くなりますが、この増加する高齢者を病院など医療施設にはとうてい収容することはできません。また土地が高く余剰地のないこれらの地域に介護施設を次々に建てる余裕もありません。結果として、在宅医療を充実させて自宅等にて医療・

介護を提供する他はないことになります。在宅支援診療所の創設と高機能型への誘導、24 時間体制の介護支援など、最近のさまざまな施策や診療報酬での誘導は、都市における在宅医療を念頭に置いたものであり、人口密度の低い地方の事情はあまり考慮されていません。

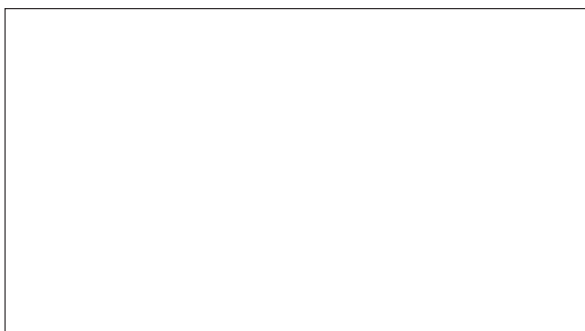


図 2 今後高齢者が増加する上位 10 都道府県と宮崎県

さて、図 3 は県内 2 次医療圏毎の 65 歳以上人口推移予測です。宮崎東諸県は今後も高齢者人口が大幅に増加しますが、他の圏域では 2025 年ぐらいをピークに減少に転じます。図 4 において、各医療圏毎の年齢別の人口推移予測を少し詳しく示しています。全圏域で総人口は減少し



図 3 県内 2 次医療圏毎の 65 歳以上人口推移（人）

ます。宮崎市は人口減少の割合はゆるやかですが、高齢者特に 75歳以上のいわゆる後期高齢者が著増することが大きな問題です。一方で、他圏域では高齢者への対応も引き続き問題ではありますが 65歳以下の若年人口が著減することが大きな問題になってくると予測されます。

県内の医療提供体制は、現在、救急医療を筆頭に崩壊の危機にあり、会員の先生方のご尽力

の下、医師会・大学・行政などが協力しながら建て直しに全力をあげているところです。人口が減少し人口構造も大きく変化していく今後を見据えながら、医療機関の機能分化と集約、アクセスの確保と制限など、国の施策とは別に、地域に応じた視点での医療計画を考える必要もあるのではないかと感じます。

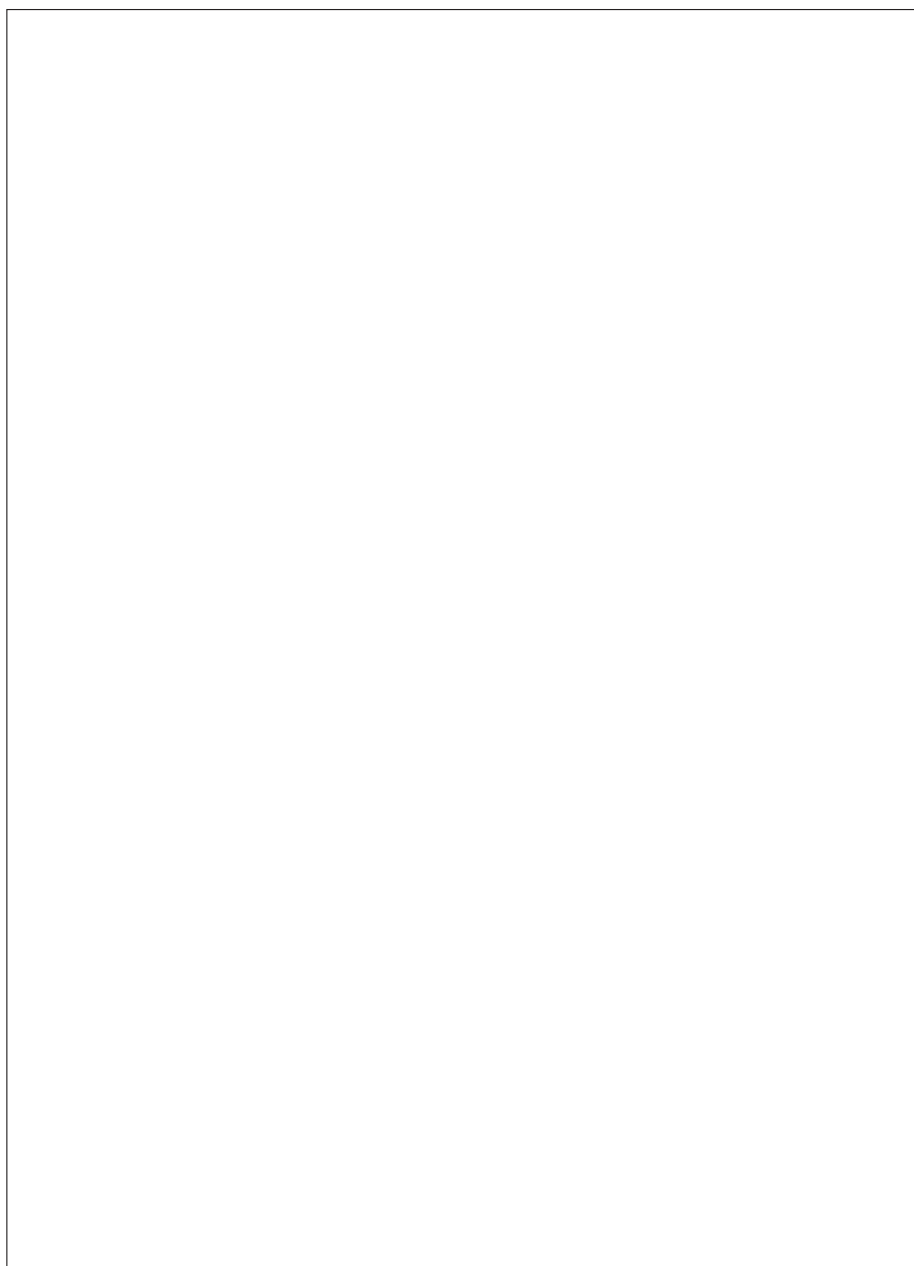


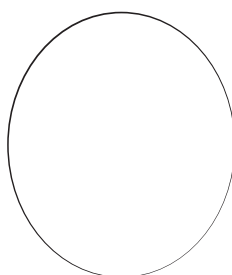
図 4 県内 2 次医療圏毎の人口推移予測

## 叙勲・祝賀

## 旭日双光章

し だ たけ ひこ  
志 多 武 彦 先生（宮 崎）

平成 23 年秋の叙勲において旭日双光章を受章されました。衷心より  
祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



志多 先生

## 瑞宝双光章

やま した もり ひさ  
山 下 盛 尚 先生（宮 崎）

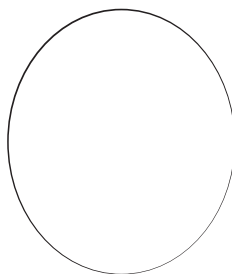
平成 23 年秋の叙勲において瑞宝双光章を受章されました。衷心より  
祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

## 叙勲・祝賀

## 瑞宝中綬章

さわ だ あつし  
澤 田 惇 先生（宮大医）

平成 23年秋の叙勲において瑞宝中綬章を受章されました。衷心より  
祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



澤田 先生



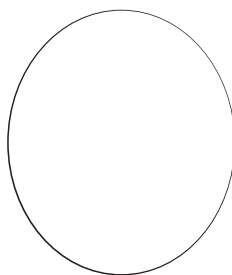
## 表彰・祝賀

## 国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

にし ぐち とし ひろ  
西 口 俊 裕 先生（宮 崎）

やま ぐち まさ とし  
山 口 昌 俊 先生（宮大医）

平成 23 年 10 月 11 日，東京において国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

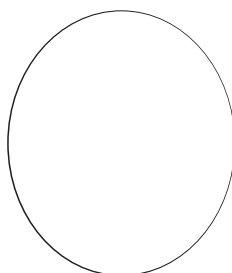


山口 先生

## 社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行 先生（宮 崎）

平成 23 年 10 月 26 日，東京において社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



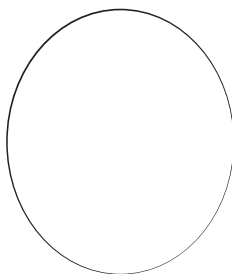
河野 先生

## 表彰・祝賀

## 学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

まつ おか ひろし  
松 岡 弘 先生（日 向）

平成 23年 10月 2日，東京において学校保健及び学校安全に関する功績により文部科学大臣表彰をお受けになりました。衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

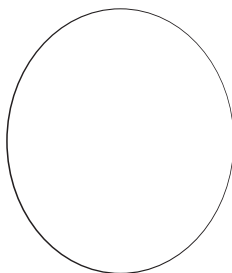


松岡 先生

## 産科医療功労者厚生労働大臣表彰

おお ぶち たつ ろう  
大 淵 達 郎 先生（宮 崎）

1 月 2日，東京において産科医療功労者として厚生労働大臣表彰をお受けになりました。衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



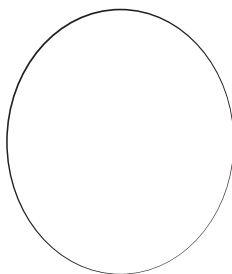
大淵 先生

## 表彰・祝賀

## 読売新聞社第 40 回医療功労賞表彰

あい ざわ きよし  
相 澤 潔 先生（西 都）

2 月 6 日，長年にわたり地域に密着して医療の向上に貢献されたことにより，県庁において読売新聞主催の第 40 回医療功労賞表彰をお受けになりました。今後ますますのご活躍を祈念いたします。



相澤 先生



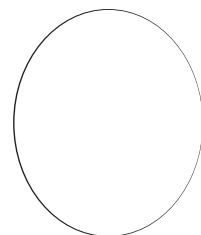
## エコー・リレー

( 439回 )

( 南から北へ北から南へ )

## 思いがけないAED 経験

宮崎市 つまがり整形外科 つまがり 曲 孝 康

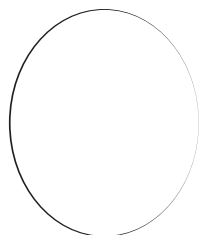


最近、街でAEDの看板を目にしますが、AEDが導入され始めた頃のことです。肌寒い1月初旬の頃、院内はひっそりしていました。事務のKさんがたまたま外を眺めていたら、入り口の患者から『誰か自転車置き場で倒れてます』との報告があった。自転車操作ミスによる転倒だろうと思い、慌てて外に飛び出すと、来院しようとしていた患者さんが、自転車の側で横たわり倒れていた。目撃者によれば、駐輪場に着くやいなや倒れたとのことで、頭部外傷はなく、心肺停止のショック状態だった。当時AEDを備えていないためどうしたものかと思い、また体格のいい患者を院内へ移動もできず、自転車置き場で点滴確保、人工呼吸、心臓マッサージを行い、救急車を要請した。すぐに救急車が到着、AEDを装着、3回作動させ脈が触知できるようになった。意識は戻らないまでも血圧上昇、自発呼吸が出て、救急車で搬送となった。後日、その患者さんは心筋梗塞だったらしく、治療後は自宅に帰られ元気になったとの知らせがあり、幸か不幸か当院の駐輪場で倒れたのが早期発見に繋がった。新年早々当院で最期を迎えることにならなくて何よりであった。除細動装置を使用し復帰した患者さんの経験もなく、患者さんが元気になったとお聞きしAEDは人命救助になり、その素晴らしさを感じた。早速AEDを導入した。幸いなことにその日以来平和な日が続いている。今後、患者さんに使用することがないことを願っている。

〔 次回は、宮崎市の坂本 康典先生をお願いします 〕

## 寅さんと家族、絆

小林市 高崎皮膚科医院 たか さき なお や 高 崎 直 哉



年末・年始に、久しぶりに渥美清の「男はつらいよ」を観た。第1作の上映から最終作まで日本を代表する喜劇として、人生の折々で、笑いを求めてその都度いい気分になって映画館を後にしていた。「ただいま！」の笑顔とともに寅さんが柴又に帰ってくる場面から映画は始まり、いつも通りマドンナに振られ、そしてまた旅にでる。今回強く感じたのは、描かれている家族の愛情と絆である。おいちゃん、おばちゃん、さくら、博、満男、そしてタコ社長、昭和の時代は当たり前であった、おせっかいと親切。団子屋の座敷でご飯を食べ、狭い部屋で全員が正真正銘の屈託のない笑顔で笑いこぼる。マドンナも家族の一員になっている。

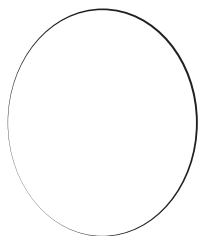
家族、町全体で絆が薄くなって久しい。教育も社会の仕組みも随分と変わり、必然の部分もある。しかしここ数年の昭和回帰、これではいけないとみんなが感じていた、その矢先の昨年の大震災。「絆」を国民全体の心が求める。

昨年ブータン国王夫妻が来日し、国民総幸福度(GNH)が注目された。「幸福とは」と自問した人も少なからずいたと思う。ある講演会での話。北陸の富山県が最も幸福度のバランスが良い県だそうである。様々な指標の中、一人当たりの畳の数、持家比率、出火件数、生保受給者の割合、小中学生の学力などの項目が高評価。興味深いのは北陸3県がベストスリーであること。経済力、生産力は決して高くないこれらの県が、絆、家族という、幸福の基本になる事柄を知らず知らずのうちに紡いできたのだと思う。

今年は、どんな年になるのか？団子屋の座敷のような暮らしぶりを時にはやりたいものです。

〔 次回は、高鍋町の黒木 康博先生をお願いします 〕

## メディアの目



## キャンプ見学で考えたこと

西日本新聞宮崎総局長

くらもと やす のり  
蔵 本 泰 慶

西高東低の冬型気圧配置になると、真っ青な空が広がる。そんな宮崎に、今年はプロ野球 4 チームとサッカー・Jリーグ 2 チームがキャンプを張った。車をちょっと走らせれば、一流選手を間近にできる環境。何ともぜいたくである。

というわけで、この 2 月はキャンプをじっくり見学させてもらった。重く乾いたような硬球音が適度な緊張感を生み、心地よい。テレビや新聞で知る選手、一軍にはい上がろうとする若手の背番号を目で追いながら、無料配布の選手名鑑と照合するのも楽しい。翌日のスポーツ紙を読んで追体験し、また一つ詳しくなる。こうやってファンが増えていくのだろう。

ある日、よく利用するホテルの温泉で、いかにも体脂肪率の低そうな若者たちと遭遇した。鍛えられた肉体の集団に圧倒されて、つい湯船の隅へ。夜の繁華街ニシタチの飲食店、隣に座った男女 4 人はその会話内容から、出会った即日のファンと選手関係者とお見受けした。キャンプ地ならではの光景。いちいち目くじらは立てまい。昨年 1 ～ 3 月のキャンプ関係の観客動員数は 43 万人。その経済効果は数十億円に上るといふから、スポーツは宮崎にとって重要な観光資源なのである。

ゴルフ場は約 30 か所のうち、7 か所が韓国と

米国の外資運営という。特に韓国資本は、本国からのゴルフツアーを積極的に誘致している。フェニックス・シーガイア・リゾートもスポーツを楽しむ観光「MOVE IT! プロジェクト」を展開中だ。あの手この手のスポーツ観光が動き出している。

宿泊や飲食など経済効果だけではない。中高生が間近に憧れのプロの練習を見ることで、地域のスポーツ力の強化も期待できる。県も新年度予算に「甲子園優勝プロジェクト」として 500 万円を盛り込んだ。スポーツに対する県民の理解は柔軟なようだ。

「スポーツランド宮崎」というものを、図らずも今回のキャンプ見学で実感できた。そこで考えたことが一つ。スポーツ医学や食の分野で情報発信拠点になれば、宮崎の可能性はもっと広がるのではないかと。スポーツドクターやトレーナーが充実する中で、一流選手たちが練習メニューをこなす、体をケアする。食べ物や栄養の観点からも体づくりに寄与する。アスリートたちが農産物豊富な宮崎に集まり、住民も健康づくりに関心を持つ。

そんなことを勝手に思い描いて、早速ジョギングシューズを新調した。現在、体脂肪率 25% 超、メタボからの脱出が課題だ。



## あなたできますか？

— 平成 22年度 医師国家試験問題より —

( 解答は 54ページ )

1. 68歳の女性。頸部腫瘤を主訴に来院した。この半年で6 kgの体重減少を認めた。身長 155cm, 体重 45kg。体温 37.6。頸部と腋窩とに直径 2 cmのリンパ節を数個触知する。腹部造影CTで腹部大動脈周囲にリンパ節の腫大がみられ、頸部リンパ節生検で悪性リンパ腫と診断された。病期はどれか。
  - a A
  - b B
  - c A
  - d B
  - e A
2. 45歳の女性。右視力低下と排尿障害を主訴に来院した。3 か月前にものが二重に見えたが1週間で軽快した。1 か月前から右眼瞼が閉じにくくなり、その後右顔面の感覚鈍麻に気付いた。5 日前から排尿障害があり、昨日急に右視力が低下した。10年前から高血圧症の治療を受けている。意識は清明。視力は右 0.1(矯正不能), 左 1.0(矯正不能)。眼底に異常を認めない。眼球運動は右眼の外転が不十分である。右顔面の痛覚低下を認める。両側上下肢の軽い運動麻痺があり、両側上下肢で腱反射が亢進し、Babinski徴候は両側陽性である。脳脊髄液検査で細胞数 6/mm³(全て単核球)(基準 0~2), 蛋白 50mg/dl(基準 15~45)である。直ちに行うべき治療はどれか。
  - a 高圧酸素療法
  - b シクロスポリン投与
  - c ステロイドパルス療法
  - d インターフェロンβ投与
  - e ガンマグロブリン大量静注
3. 母子保健法に規定されていないのはどれか。
  - a 母子健康手帳の交付
  - b 妊婦健康診査
  - c 出生証明書の交付
  - d 未熟児養育医療
  - e 3歳児健康診査
4. 急性ストレスによって血中濃度が低下するのはどれか。2つ選べ。
  - a 副腎皮質刺激ホルモン
  - b 卵胞刺激ホルモン
  - c 成長ホルモン
  - d 黄体形成ホルモン
  - e プロラクチン
5. 5歳の女性。尿失禁を主訴に来院した。笑ったときや咳・くしゃみをしたときに尿が漏れるが、尿意を感じてからトイレに向かっても間に合うという。排尿困難や夜間頻尿を認めない。この患者の尿失禁について可能性が高いのはどれか。
  - a 溢流性
  - b 機能性
  - c 混合性
  - d 切迫性
  - e 腹圧性
6. 原発性免疫不全症候群と所見の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。
  - a 慢性肉芽腫症 ———— 好中球遊走能低下
  - b DiGeorge症候群 ———— 新生児テタニー
  - c Wiskott-Aldrich症候群 ———— 運動失調
  - d Chediak-Higashi症候群 ———— ペルオキシダーゼ陽性巨大顆粒
  - e X連鎖無ガンマグロブリン血症 ———— アデノシンデアミン欠損
7. 緊急手術を要するのはどれか。3つ選べ。
  - a 蜂巣炎
  - b 壊死性筋膜炎
  - c Brodie骨膿瘍
  - d 手の化膿性腱鞘炎
  - e 乳児化膿性股関節炎
8. 介護保険について正しいのはどれか。
  - a 被保険者は65歳以上である。
  - b 主治医意見書には要介護度を記入する。
  - c 認知機能の障害は介護保険の対象となる。
  - d ADLが自立していても独居であれば利用できる。
  - e 地域包括支援センターは二次医療圏ごとに設置される。
9. 薬の効能を検証する研究方法で最もエビデンスレベルが高いのはどれか。
  - a 無作為化比較対照試験
  - b 症例対照研究
  - c コホート研究
  - d 横断研究
  - e 症例研究
10. 褥瘡の治療に適しているのはどれか。
  - a 痂皮形成
  - b 血腫形成
  - c 湿潤環境
  - d 創部圧迫
  - e 創部消毒

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 1 月 ～

平成 24 年 1 月 2 日～平成 24 年 1 月 29 日(第 1 週～4 週)

## ■ 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類 結核 15 例が報告された。保健所別報告数を【図 1】に示した。患者が 9 例、無症状病原体保有者が 6 例で、患者は肺結核が 8 例、その他の結核(結核性胸膜炎)が 1 例であった【表 1】。男性 7 例、女性 8 例で、年齢別報告数を【表 2】に示した。

3 類 報告なし。

4 類 ○つつが虫病 11 例が報告された。保健所別報告数を【図 2】に示した。男性 6 例、女性 5 例で、年齢別報告数を【表 3】に示した。

5 類 ○ウイルス性肝炎(B 型) 宮崎市保健所管内で 1 例報告された。20 歳の男性で、嘔吐、褐色尿、肝機能異常、黄疸、心窩部痛がみられた。  
○急性脳炎 宮崎市保健所管内で 4 例報告された。  
・ 2 歳女児で、病原体不明。発熱、痙攣、意識障害がみられた。  
・ 3 歳男児で、病原体はインフルエンザ A H 3 発熱、痙攣、意識障害がみられた。  
・ 4 歳女児で、病原体はインフルエンザ A H 3 発熱、痙攣、意識障害がみられた。  
・ 9 歳女児で、病原体不明。発熱、頭痛、痙攣、意識障害がみられた。

## ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 8,246 人(定点あたり 196.7)で、前月比 132%と増加した。また、例年と比べると 83%と少なかった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は、伝染性紅斑、RSウイルス感染症、流行性耳下腺炎であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病、咽頭結膜熱、流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は 4,151 人(71.6)で前月の約

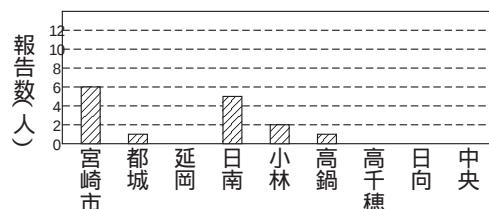


図 1 保健所別報告数

表 1 結核の病型及び報告数(人)

肺結核	8
肺結核及びその他の結核	0
その他の結核	1
疑似症患者	0
無症状病原体保有者	6

表 2 結核の年齢別報告数(人)

4 か月	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代
1	1	2	1	3	2	1	4

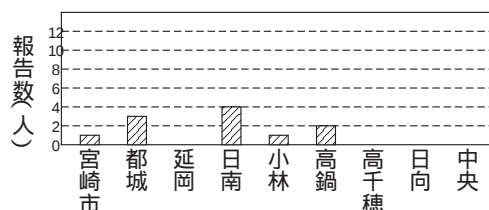


図 2 保健所別報告数(つつが虫病)

表 3 つつが虫の年齢別報告数(人)

50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代
3	3	3	2

## ■ 病原体検出情報(微生物部)

検出病原体		件	臨床症状等
ウイルス	エコーウイルス 6 型	1	新生児発熱(日齢 8), 39.0
	エコーウイルス 9 型	1	エンテロ(?), 38.5, 発疹(丘疹)
	インフルエンザ A H 3 型	23	・急性脳症(インフルエンザ A 型), 40.0, 熱性けいれん, 上気道炎, 意識障害 ・インフルエンザ A, 38.8, 上気道炎 ・インフルエンザ A, 手足口病, 発熱, 発疹(手, 足)など
	インフルエンザ B 型	1	インフルエンザ B 型, 38.6
細菌	腸管出血性大腸菌(O 103 H 2 VT 1)	3	・水様性下痢 ・無症状
	Salmonella Miyazaki(O 9 1, z 13 1, 7)	1	サルモネラ腸炎, 胃腸炎, 下痢
	Salmonella Typhimurium(O 4 i 1, 2)	1	
	病原血清型大腸菌(O 127a H 21)	1	EPEC 疑
	Salmonella Braenderup(O 7 e h e n z 15)	1	発熱, 胃腸炎, 下痢
	Salmonella Enteritidis(O 9 g m -)	1	発熱, 咳, 鼻汁, 下痢
	毒素原性大腸菌(O 159 H 7 LT O 169 H 4 ST)	1	ETEC 疑
	Staphylococcus aureus コアグラ-ゼ(+)エンテロトキシン(+)	1	胃腸炎, 下痢, 血便

16倍、例年の約 7 割であった。小林( 111.6)、日南( 103.0)保健所からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 36%、6 ~ 9 歳が 27%、10~ 14歳が 21%、15歳 ~ 19歳が 3 %、20歳以上が 13%を占めた。

手足口病の報告数は 49人( 1.4)で前月の約 1.1倍、例年の約 2 倍であった。日南( 5.0)保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 3 歳で全体の約 9 割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 58人( 1.7)で前月の約 8 割、例年の約 1.2倍であった。日南( 11.3)保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳で全体の約 8 割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は 250人( 7.1)で前月の約 6 割、例年の約 1.3倍であった。日南( 15.3)、高鍋( 11.0)保健所からの報告が多く、年齢別では 2 歳から 6 歳で全体の約 6 割を占めた。

## ■月報告対象疾患の発生動向 1 月

### □性感染症

#### 【宮崎県】定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は 33人( 2.5)で、前月比 83%と減少した。また、昨年 1 月( 2.4)の約 1.1倍であった。

#### 《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数 22人( 1.7)で、前月及び前年と同程度であった。延岡( 2.5)保健所からの報告が多く、男性 12人・女性 10人で、10歳代後半・20歳代が全体のそれぞれ約 3 割を占めた。

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数 8人( 0.62)で、前月の約 1.6倍、前年の約 2.7倍であった。男性 2人・女性 6人で、40歳代が全体の半数を占めた。

○尖圭コンジローマ：報告はなかった。

○淋菌感染症：報告数 3人( 0.23)で、前月の約 3 割、前年の約 4 割であった。全て男性で、10歳代が 2人、50歳代が 1人であった。

#### 【全国】定点医療機関総数：963

定点医療機関からの報告総数は 3,818人( 4.0)で、前月比 100%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症 1,845人( 2.0)で前月比 94%、性器ヘルペスウイルス感染症 709人( 0.74)で前月比 107%、尖圭コンジローマ 428人( 0.44)で前月比 107%、淋菌感染症 836人( 0.87)で前月比 102%であった。

### □薬剤耐性菌

#### 【宮崎県】定点医療機関総数 7

定点医療機関からの報告総数は 29人( 4.1)で前月と同数であった。また、昨年 1 月( 5.1)の約 8 割であった。

#### 《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数 24人( 3.4)で、前月とほぼ同じ、前年の約 9 割であった。宮崎市( 7.0)、高鍋( 5.0)保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約 7 割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数 4人( 0.57)で、前月の約 1.3倍、前年の約 4 割であった。宮崎市( 3.0)、高鍋( 1.0)保健所からの報告で、5 歳未満が 2人と 30歳代と 70歳以上がそれぞれ 1人であった。

○薬剤耐性緑膿菌感染症 報告数 1人( 0.14)で、前月と同数であった。延岡保健所からの報告で 70歳以上であった。

○薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

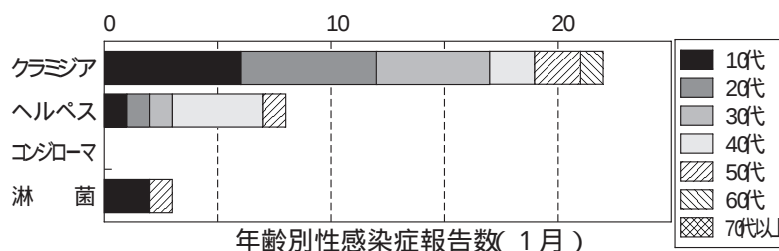
#### 【全国】定点医療機関総数：464

定点医療機関からの報告総数は 2,286人( 4.9)で、前月比 99%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 1,897人( 4.1)で前月比 102%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 354人( 0.76)で前月比 86%、薬剤耐性緑膿菌感染症 34人( 0.07)で前月比 100%、薬剤耐性アシネトバクター感染症 1人であった。

### 前月との比較

	2012年 1 月		2011年 12月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 た(人)	報告数 (人)	定点当 た(人)	
インフルエンザ	4,151	71.6	267	4.5	
RSウイルス感染症	74	2.1	163	4.5	
咽 頭 結 膜 熱	58	1.7	71	2.0	
溶レン菌咽頭炎	319	9.1	385	10.7	
感 染 性 胃 腸 炎	2,528	72.2	2,798	77.7	
水 痘	572	16.3	691	19.2	
手 足 口 病	49	1.4	47	1.3	
伝 染 性 紅 斑	26	0.7	73	2.0	
突 発 性 発 し ん	146	4.2	196	5.4	
百 日 咳	3	0.1	0	0.0	
ヘルパンギーナ	9	0.3	9	0.3	
流行性耳下腺炎	250	7.1	414	11.5	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	49	8.2	44	7.3	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	1	0.1	
マイコプラズマ肺炎	11	1.6	14	2.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	1	0.1	

例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い  
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



年齢別性感染症報告数(1月)

## 各都市医師会だより

### 延 岡 市 医 師 会

県北の救急医療が少し進展した。まだ実情が知られていない頃、県立延岡病院の医師の疲弊の原因は当医師会の 1 次救急の不備とまで言われた。当会として、延岡市夜間急病センターと外科輪番を含めた 19 30~ 23 00 の準夜帯毎日の内科・外科・小児科に加え、土曜の内科・外科 14 00~ 18 00 を行い、金曜の内科・外科の深夜帯に加え、内科で土曜、さらに昨年 6 月からは木曜も深夜帯を増やした。これは会員の献身的な協力と延岡市以外の応援が得られたことによる。しかし県北では放射線技師を含むスタッフのマンパワー不足の問題で、これ以上増やすことが難しいのも現状である。県立延岡病院の救急患者が 1 万人から 5,700 人に減少し、急病センターが 1 万人から 1 万 2 千人に増加し現在 1 万 1 千人となった。これは、延岡市や市民団体「宮崎県北の地域医療を守る会」の、かかりつけ医を持ちコンビニ受診を控えようとの啓発活動の効果も大きい。昨年 4 月より小児科を日向市東臼杵郡医師会と協力し広域連携とした。延岡市民も日向での受診に慣れてきた感もある。また当会員有志を中心とした消化管出血と脳梗塞輪番を開始して 3 年になる。献身的な協力により成り立っているが、このままずっと続けられるはずもない。一刻も早い県立延岡病院の体制充実を願うばかりである。

急病センターの後方病院である医師会病院はというと、昨年 5 月に内科医が 1 名、9 月に外科医が 1 名大学に戻り、入院を 4 名の医師で診ている。頑張ってもらっているが、かなり厳しい状況である。今年 4 月には北海道から 1 名の医師と大学から 1 名の派遣医が来てもらえる可能性が出てきて、希望を持っている所である。

(吉田 建世)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

### 日向市東臼杵郡医師会

例年実施されている日向市集団災害事故救急救護訓練が、2 月 18 日(土)細島工業港 2 号岸壁南側背後広場で行われました。今回は、日向市が現在救急車 2 台に搭載し、実証実験を行っている「救急車映像伝送システム」の公開も行われました。実際に訓練現場のトリアージにより高次医療機関への搬送が必要な被災患者のバイタルサイン、エコー診断状況がリアルタイムで大型モニター画面を通じて映し出され、本格的に運用できる段階まできていることが確認できました。また、会場を移動して、『災害医療における ICT の活用』をテーマに、3 名のパネリストの先生による公開シンポジウムが開催されました。

各パネリストから実際の ICT の有効利用方法の紹介等があり、救急医療における映像伝送の展望等について学ぶ機会を得ました。

(渡邊 康久)

◇ ◇ ◇ ◇

### 児 湯 医 師 会

新法人(一般社団法人児湯医師会)に移行するための準備をしています。今年 6 月宮崎法制局に必要書類を提出予定です。永友会長はじめ多くの方がご尽力される中、ただ傍観している私は心苦しい限りですが、せめて召集には応じるようにしております。1 月の臨時総会では会長以下全役員の留任が決まりました。(永田 昌彦)

◇ ◇ ◇ ◇

## 西都市・西児湯医師会

去る 1 月 26 日に西都市・西児湯医師会臨時総会が開かれ、次期役員が無事に決まりました。そのあとに恒例の新年会が行われましたが、昨年末の忘年会と同様、出席者がやや少なく盛り上がり欠けた印象がありました。

現執行部の 3 月までに残された主な仕事は、公益法人制度改革に関する事務作業と西都医師会病院の最終的な清算手続きの 2 つとなりました。（岩見 晶臣）

◇ ◇ ◇ ◇

## 南 那 珂 医 師 会

2006 年 4 月 1 日に禁煙治療が保険適用され間もなく 6 年が経とうとしています。当初から当院でも積極的に行ってききましたが成功率も頭打ちでなかなか思うようにいきません。喫煙率低下を図る上で最も有用な策は喫煙を始めさせないこと、続けさせないこと、つまり中高生への啓発活動とたばこ税を欧米並みにすることと考えています。南那珂地区でも野田隆先生が地域の中学、高校で喫煙の有害性について講演を行っています。喫煙率を下げるのが今後の医療費削減に大いに貢献することから保険適用も認可された一方で、たばこ税アップには反対議員がいることで二の足を踏む政府には苛立ちを覚えます。（福岡 周司）

◇ ◇ ◇ ◇

## 西 諸 医 師 会

当医師会は 1 月 2 日に臨時総会が開催され、4 月からの新役員が決定しました。また、新公益法人制度改革に伴い、4 月 1 日から一般社団法人へ移行ができるよう認可申請を致しております。新役員を中心に法人移行をスムーズに行い、地域医療の諸問題への対応、医師会立准看護学校の安定した運営、保健予防事業へのより一層の取り組み等、西諸地区の医療の充実のためまい進していく所存です。今後とも、当医師会へのご指導よろしくお願いいたします。

（高崎 直哉）

◇ ◇ ◇ ◇

## 宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎市郡医師会では、3 期 6 年間会長を務められた中村典生会長が勇退され、4 月より川名隆司新会長を中心に新執行部が発足することになりました。本会が抱える公益法人改革問題と医師会病院を中心とする当会の将来構想問題に引き続き全力で取り組むこととなります。昨年の東日本大震災で地震に続いて発生した津波を考慮すれば、医師会病院の現在の立地については、同様の状況下被災する可能性を否定できず、宮崎市とも十分に対応を協議していきたいと考えています。また、宮崎県地域医療再生計画の中で広域救急医療支援体制の整備として、宮崎市郡医師会病院は急性心筋梗塞対策としてモービル CCU を導入することになりました。心臓病センターとしての機能を充実させていく予定です。（市来 能成）

◇ ◇ ◇ ◇

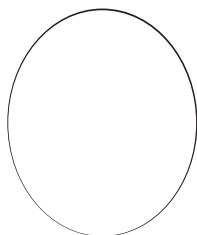
## 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

東日本大震災から 1 年が経過しようとしている。あれほどの大災害に遭いながら規律ある行動をする日本人のことを驚きをもって伝える海外メディアが多かった。儒教の影響とする人もいるが、中国人は列に並ばない。作家の司馬遼太郎さんが、日本人のモラルを醸成したのは、「恥ずかしいことをするな」「そんなことを言ったら笑われる」「そんなことを言うと恥をかく」など日本にしかない「美意識」みたいなものではないか、その「美意識」が日本社会を保ってきたと解説している。救急医療や地域医療は医師個々の「美意識」によって支えられてきた部分も多い。最近は美意識の欠如した患者さんに悩まされることも多い。私も 3 月で総務理事を退任させて頂くことになった。今後は一会員として、地域医療に役立ちたいと考えている。（田口 利文）

◇ ◇ ◇ ◇

## 国公立病院だより

### 県立宮崎病院



とよだ きよかず  
豊田 清一 病院長

県立宮崎病院は、平成 23 年 10 月 1 日をもちまして、開設 90 周年...人でいえば「卒寿」...を迎えました。このことは、ひとえにこれまで献身的に宮崎県の医療に係わってこられた県医師会員の先生方をはじめ、医療従事者

の方々のご尽力と厚い信頼で支えていただいた県民の皆様のご支援によるものであります。

当院の歴史を簡単に振り返ってみますと、

1. 置県以来、歴代の知事が県政上の重要課題として取り組み、第 1 次世界大戦などの困難な状況を経ながら、長年の県民の熱望であった「県立病院」として誕生した(創成期)
2. 病棟の増築や医療機械等の近代化に取り組んだ(昭和初期の発展期)
3. 第 2 次世界大戦での被災後、全くのゼロからの復旧を成し遂げた(復興期)
4. 宮崎県の中核医療機関として、様々な施設・機能の整備を図った(戦後の発展期)
5. 医療の高度化に対応した、昭和後期から現在にいたる(充実期)

の 5 期に分けられます。

当院の運営に携わってこられた諸先輩方が、大正、昭和、平成とそれぞれの時代において、激動する社会情勢や経済状況の変化、医療政策上の諸課題など様々な困難に立ち向かいながら、地域住民の健康の維持・増進を図り、地域の発展に貢献するという崇高な使命を最大限に果たしてこられたことに、こころより敬意を表します。

当院は、「地域とともに歩み、良質で高度な医療を提供する、患者さま中心の病院を目指す」を

基本理念とし、医療に係る安全管理(ヒヤリハット報告・分析・フィードバック)、病院の健全な運営(院内連携によるチーム医療)、病院経営の安定的基盤の確立(職員全員の経営参加・的確な診療報酬請求)、地域との連携の推進(医療連携科)、情報の共有化(院内掲示板)、法令の遵守(コンプライアンス)、挨拶の励行(気持ちよく仕事ができる環境作り)を基本姿勢として、職種を超えた院内連携「和」をモットーとしています。

また、当院の主な機能は、

- がん医療を中心とした高度医療提供病院  
...地域がん診療連携拠点病院、移植医療
  - 救急医療を中心とした急性期医療提供病院  
...救命救急センター、3 次救急医療
  - 県内の医療従事者の確保や技術向上を支援する研修病院...基幹型臨床研修病院
- であり、その他に災害拠点病院(基幹災害医療センター)、エイズ治療中核拠点病院、宮崎県地域周産期母子医療センターなど県の中核的病院としての役割を担っています。

平成 24 年 4 月県立富養園の閉鎖に伴い、精神医療センターを併設し、民間精神医療機関との機能分担の観点から、民間精神医療機関では対応困難な急性期治療、難治性疾患治療、児童思春期治療、身体的合併症治療、高次救急医療の 5 つの高度医療、政策医療を担っています。

さらに、平成 24 年には、内視鏡センターの設置や外来化学療法室を増床し診療機能の充実を

図り、女性医師の復職支援として短時間勤務や職員の育児・就業支援として24時間・365日対応できる院内病児等保育も行っており、昨年、日本医療機能評価(Ver.6)を更新しました。

また、平成18年度より県立病院の経営形態は、地方公営企業法の全部適用となり病院局のもとに、病院事業の自主性を明確にし、企業性を活かした効率的な運営を行っており、安定的経営基盤の構築に向けて取り組んでいます。

昨年は、自然災害の脅威に翻弄された1年でありました。当県においては、鳥インフルエンザと新燃岳の爆発的噴火が発生いたしました。さらに、東日本大震災が起こり、福島原発事故により未曾有の被害を被り、多くの尊い生命が失われ、医療機関をはじめ多くの社会基盤が被害を受けました。

当院といたしまして、岩手県へ「こころのケアチーム」や福島県へ「放射線スクリーニングチーム」にスタッフを派遣するなど、医療人として、また、一昨年および昨年と全国から多大なご支援をいただいた宮崎県として、積極的に支援の輪に加わりました。

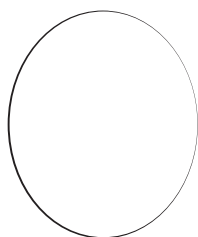
近年の急速な少子高齢化に伴う疾病構造の変化や医療技術の進歩等により、県民の医療に対するニーズは多様化・高度化しています。しかしながら、全国的な医師の偏在による地域の医師不足、診療科の偏在、看護師不足など医療を取り巻く環境は厳しい状況にあり、医療格差が顕著化し、地域医療を守ることへの危機感が現実化しています。地域医療を維持していくには、地域連携・協働による「地域完結型」の医療体制の構築が肝要であります。そのような中、当院は、基幹型研修病院としてのみならず、宮崎大学および九州大学の協力型研修病院として、毎年10数名の研修医を受け入れ総合的な知識および技術を習得するよう指導しています。さらに来年度より新しくフェニックスプログラムを加え、将来の宮崎の医療を支え県民の健康を守ってくれる医師の育成・確保に取り組んでいます。

当院の職員一同は、諸先輩方が築いてこられた歴史と伝統の「たすき」を繋いでいき、90周年を節目とし、県立宮崎病院としての使命を果たす決意を新たにしたところであります。これからも地域医療に貢献するために、医師会や宮崎大学はじめ地域の医療機関との連携をより一層深めるとともに、県立宮崎病院としての特色を活かした診療体制の構築を目指して、総力を結集して取り組んで参る所存でありますので、今後とも医師会の先生方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。(豊田 清一)

#### 沿 革

大正 10年 10月	宮崎県立病院開設(100床)
昭和 23年 9 月	県立宮崎病院と改称
昭和 39年 7 月	救急病院に指定
昭和 47年 3 月	臨床研修病院に指定
昭和 49年 6 月	宮崎医科大学関連教育病院に指定
昭和 59年 4 月	救命救急センターに指定
昭和 60年 12月	改築工事竣工(現県立宮崎病院)
昭和 63年 10月	腎臓移植(県内初)
平成 1 年 1 月	骨髄移植(県内初)
平成 7 年 9 月	エイズ治療拠点病院に指定
平成 9 年 3 月	災害拠点病院に指定
平成 10年 1 月	院外処方せん全科発行
平成 10年 6 月	臓器移植提供施設に指定
平成 13年 8 月	地域がん診療拠点病院に指定
平成 15年 11月	管理型臨床研修病院に指定
平成 17年 4 月	外来化学療法室設置
平成 17年 9 月	日本医療機能評価認定証取得
平成 18年 1 月	電子カルテ導入
平成 18年 4 月	医療連携科、地域医療科新設、地方公営企業法全部適用
平成 21年 4 月	精神医療センター併設、DPC 対象病院
平成 22年 3 月	内視鏡センター設置
平成 22年 10月	院内病児等保育開始

## 宮崎大学医学部だより

解剖学講座  
- 超微形態科学分野 -さわくち あきら  
澤口 朗 教授

私ども解剖学講座超微形態科学分野(旧解剖学第二講座)では、肉眼解剖学教育と電子顕微鏡レベルの形態学的研究に従事しております。

学長に就任された菅沼龍夫前教授の後任として、2010年7月に澤口朗が教授に着任しました。現在の教室員は助教・生沼勉、助教・豊嶋(旧姓：青山)典世、助教・高橋伸育、教務職員・井手惣幸、事務補佐員・戸高靖代の計6名で構成されています。

教育は解剖学実習を含む肉眼解剖学全般を担当しており、1年生の後期に骨学に始まる運動器の系統講義、2年生の前期に内臓学の系統講義、後期の9月から12月にかけて解剖学実習を実施しております。最近の画像診断技術や内視鏡下手術の発達をふまえ、解剖学実習では耳鼻咽喉科や整形外科、麻酔科をはじめとする臨床各科と共同で指導にあたっております。特に頸部・側頭部の解剖では、耳鼻咽喉科の先生が手術顕微鏡を用いて中耳や内耳を見事なまでに剖出されながら临床上の重要事項を解説され、学生から好評を得ております。また、地域貢献の一環として、県内の看護師・理学療法士養成学校や消防救急隊員を対象とした解剖学標本示説を実施しております。肉眼解剖学教育は宮崎大学白菊会会員の崇高なご遺志に基づく篤志献体

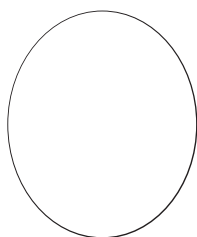
によって支えられておりますが、昨年4月には解剖学教育支援センターが併設され、より良い実習環境を整備しながら故人のご遺志に報いるよう努めております。

研究では新たな組織・細胞凍結技法として注目を集めている高圧凍結技法の医学・生物学研究への応用を主題として取り組んでおります。特に胃粘膜組織の動的形態学ならびに組織化学的研究において、胃酸分泌刺激に伴う胃小窩壁細胞特有の剥離現象を豊嶋が発見し、胃粘膜防御機構の解明につながる新たな研究領域を開拓するなど、今後の進展が期待されています。また当研究室では、超微形態解析を中心とした共同研究を展開しており、とくにCIRIA 京都大学IPS細胞研究所との共同研究では、ヒトIPS細胞から分化誘導された巨核球から血小板が分離する決定的瞬間を電子顕微鏡レベルで捉えることに成功し、私どもが提供した電子顕微鏡写真がNHKの全国ニュースで紹介されました。

医師不足が叫ばれる中、医師養成に欠くことの出来ない基礎医学教育・研究者の不足も深刻化しております。一方で、宮崎医科大学が平成2年度に導入した「ユニーク入試」によって入学した澤口、豊嶋、高橋の3名が母校の解剖学教育に従事していることは、賛否が分かれた同入試制度が誤りでなかったことを証明する“実績”として特筆に値するものでしょう。解剖学教育は医学教育の基礎をなすだけに、教室員一同、今後も魅力ある研究室づくりから、次代の解剖学教育と研究を担う人材育成に努めて参りますので、御指導と御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。  
(澤口 朗)

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り

### ( 泌 尿 器 科 医 会 )



なかやま けん  
中山 健 会長

前回の平成 23年 9 月に続いて、当医会の現状を報告します。

会員の動向は平成 23年 7 月の時点で総数 86名で、前回より 4 名の増加です。その内訳は開業医 25名、勤務医 5名、その他 4 名です。会員が所属する医療機関の所在地は宮崎市 17、都城市 4、延岡市 4、日南市 3、日向市 3、小林市 3、西都市 1、串間市 1、東諸県郡 1、児湯郡 2 とほぼ全県下にわたっております。

医会の活動は、例会を原則として全奇数月と 12月に行い、全国から各領域のスペシャリストをお招きしてご講演を拝聴しています。これ以外に宮崎地方会や宮崎大学のお世話による諸研究会が開かれ、昨年は 8 回を数えました。更に、開業医を中心として基幹病院の先生等のお話をお聞きする懇話会もあり、宮崎地区では昨年 7 回行いました。すなわち宮崎地区では、年間 22回の会合が開かれたことになります。これらを通して、私が抱負としております 生涯教育の充実、病診・診診連携の強化、宮崎大学との協調ならびに緊密な連携の三本柱が、少しずつではありますが堅固なものになっている

のではないかと考えています。

ところで特筆すべきは、昨年、当県泌尿器科医会の歴史の輝かしい 1 ページとなる大イベントが開催されました。「宮崎フェニックスカンファレンス～宮崎を元気に！泌尿器がんの未来を考える～」と題する講演会がそれで、平成 23年 12月 23日、24日の両日宮崎市で行われました。代表世話人を宮崎大学の賀本敏行教授が務められ、宮崎大学泌尿器科同門会と共に当医会も後援させて頂きました。この会は、副題に示されているごとく複合災害で疲弊した当県を元気づけると共に、泌尿器がん治療の明るい将来を夢みたいとの主旨のもとに運営されました。講師として、北は北海道から南は鹿児島までの大学の泌尿器科教授 21名が一堂に会され、各々のエキスパートに前立腺がん、膀胱がん、腎がんの 3 つのセッションに分かれて、泌尿器がんの現況と未来像について熱く語って頂きました。時間を忘れた討議も行われました。空前絶後のこの会は、私達の誇りとして長く記憶に留まることと確信致します。

以上述べましたごとく、私達の医会は躍進を続けていると自負しますが、更なる発展の為に皆様の当医会に対するなお一層の御指導、御協力をお願いして止みません。 (中山 健)

## 薬事情報センターだより ( 298 )

関節リウマチ治療に用いられる生物学的製剤

関節リウマチは、関節滑膜炎を主座とし、発熱、倦怠感、皮下結節、間質性肺炎などの関節外症状を併発する全身性自己免疫疾患です。炎症性サイトカインが介在する関節炎が持続することで、関節破壊が進行し、身体機能障害を引き起こすと考えられています。

生物学的製剤は、インフリキシマブが 2003 年 7 月に関節リウマチに対する効能・効果が認められて以降、2012 年 1 月現在、6 成分 1 製品 (TNF を標的とした 4 成分、IL -6 受容体を標的とした 1 成分、APC 表面の CD 80/86 を標的とした 1 成分) に増えています。但し、全製品について、既存治療で効果不十分な場合に使用が限定されています。投与経路は静注 3 成分 (インフリキシマブ、トシリズマブ、アバタセプト)、皮下注 3 成分 (エタネルセプト、アダリムマブ、ゴリムマブ) です。また、皮下注の中でもエタネルセプトとアダリムマブは自己注射も可能です。多種類の製剤を利用できるようになっており、効果が得られない場合や副作用が出現した場合等でも他の生物学的製剤を使用することが可能となって

います。今後、経口剤や既存成分と異なる作用機序の生物学的製剤が使用できるようになり、薬剤選択の幅がさらに拡大されることが期待されます。

これまでに行われた市販後調査等において、重篤な有害事象としては感染症が最多であり、感染症のリスク因子の存在や全身状態等について十分に評価することや投与中の患者さんの注意深い観察が必要です。

なお、日本リウマチ学会のホームページ (<http://www.ryumachi-jp.com/iyaku.html>) には、関節リウマチに対する TNF 阻害療法施行、アバタセプト使用、トシリズマブ使用、アダリムマブ使用のガイドラインが掲載されています。

## 参考資料

今日の治療指針 2012 年版

関節リウマチ (RA) に対する TNF 阻害療法施行ガイドライン (2010 年改訂版)

新薬情報 関節リウマチ編・日本医事新報 No. 4567, 39-43. 2011

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## 関節リウマチの効能・効果を有する生物学的製剤 (2012 年 1 月現在)

成分名	製 剤 名	標 的	販売開始
インフリキシマブ (遺伝子組換え)	レミケード点滴静注用 100	TNF $\alpha$	2003 年 7 月
エタネルセプト (遺伝子組換え)	エンブレル皮下注用 10mg・25mg エンブレル皮下注 25mg シリンジ 0.5ml・50mg シリンジ 1.0ml	TNF $\alpha$ , LT $\alpha$	2005 年 3 月
トシリズマブ (遺伝子組換え)	アクテムラ点滴静注用 80mg・200mg・400mg	IL -6 受容体	2008 年 4 月
アダリムマブ (遺伝子組換え)	ヒュミラ皮下注 40mg シリンジ 0.8ml	TNF $\alpha$	2008 年 6 月
アバタセプト (遺伝子組換え)	オレンシア点滴静注用 250mg	CD 80/86	2010 年 9 月
ゴリムマブ (遺伝子組換え)	シンボニー皮下注 50mg シリンジ	TNF $\alpha$	2011 年 9 月

販売時期は関節リウマチに対する効能・効果が承認され販売された時期を記載しています。

## 第 3 回各郡市医師会長協議会

と き 平成 24年 1 月 24日(火)

ところ 県医師会館

立元常任理事の進行により開会。稲倉会長の挨拶の後、報告及び協議に入った。

報告及び協議

### 1. 1 /17(火)(日医)都道府県医師会長協議会について

都道府県医師会から提出された 8 議題と日医から出された 2 議題について、稲倉会長が要点を報告した。

- 1) 国際戦略総合特区申請にみる治験・臨床研究並びに先制医療推進の問題点(兵庫県)
- 2) 特定機能病院・地域医療支援病院の要件見直しについて(徳島県)
- 3) 日本医師会会員証の改定について(東京都)
- 4) 後発医薬品に関する問題点について

(秋田県)

- 5) 特定健診受診率向上に向けた滋賀県の試み(滋賀県)

- 6) 国民皆保険体制維持へのアピールについて(愛知県)

- 7) 消費税対策について(宮崎県)

- 8) 病床再編について(埼玉県)

- 9) 平成 22・23年度 定款・諸規程改定検討委員会答申について(日医)

- 10) 「総合医とかかりつけ医」・「総合診療医」の語句の定義について(日医)

(詳細については、日医ニュース№ 1210号 / 平成 24年 2 月 5 日号に掲載のため省略)

### 2. 1 /17(火)(日医)日医連執行委員会について

都道府県医師会長協議会に引き続き開催さ

れた会議で、河野副会長が報告を行った。

### 1) 平成 22年度日本医師連盟収支決算について

剰余金が多すぎるとの質問が出されたが、近い将来の選挙に備え必要であるとの答弁があり承認された。

### 2) 平成 24年度日本医師連盟の負担金基準額について

会員 1 名あたり 2 万円とすることで承認された。

### 3) 平成 23年度における政治課題への対応について

総理大臣等国務大臣との面会回数 2 回、各省副大臣・大臣政務官・衆参国会議員との面談数延べ 58 名。そのような活動が、僅かではあるが診療報酬のプラス改定につながったとの説明が行われた。

### 4) その他

支援政党は民主党なのかとの質問が出されたが、執行部は、政局をみて柔軟に対応し、政権与党を軸とするが、必ずしも民主党に決めているわけではない。真に日本の医療を守ることが目的であって、どの政党でもパイプをつくるとの説明が行われた。

### 3. 審査について(突合・縦覧点検)

富田副会長から、レセプトの電子化に伴う審査等について説明が行われた。

○「電子レセプト請求における各点数の算定日の記録について」

4 月診療分から各点数の算定日を記録し

て請求することになる。処置、手術と投薬等の関係に注意が必要(県医 FAX ニュース (№ 320)平成 24 年 1 月 16 日参照)。

○「一次審査における突合審査について」

社保と国保によって対応が異なり、混乱が予想される。社保は、調剤レセプト 1,500 点以上の縛りがなくなる。突合によって疑義が生じた場合、一度医療機関に全額支払を行い、医療機関に処方内容等を確認の上、本来の処方と相違する場合には、薬局から処方せんを取り寄せ、審査会で判断後、調整するという対応を行う。また、薬局が先発品と後発品で適応症が異なる医薬品に変更した場合、当面は査定の対象としないことで合意している。

国保は、過去再審査で査定となった医薬品や 1,500 点以上の調剤レセプト等が対象で、悪性疾患や難病、15 歳未満のレセプトは対象外。社保が行う医療機関の処方内容確認等は行わない。後発医薬品で適応症が異なる場合の取扱いについては協議中となっている。

○「一次審査における横覧、縦覧点検について」

横覧点検は、同一医療機関の入院と外来でチェックを行う場合等で、国保からの情報では「初診料は入院・外来で 1 回のみ」等、15 項目のルールがあり DPC 関連が多い。縦覧点検は 130 項目のルールがあり、「3 か月に 1 回しか算定できない」等のチェックとなる。開始時期は、社保が 2 月診療 3 月審査分、国保についてはまだ決まっていない(日州医事平成 23 年 8 月号、県医 FAX ニュース (№ 325)平成 24 年 2 月 10 日参照)。

レセプトの電子化等により横覧、縦覧点検等が一次審査から取り入れられることになるが、その多くが、今まで、保険者が人海戦術でチェック、再審査請求を行っていた部分で、極端な変化は無いと考えられるものの引き続き情報提供を行っていく。また、各医療機関においては病名等に十分注意してレセプトを作成していただきたい。

4. 役員報酬について

公益法人の申請に必要な資料で、立元常任理事から説明が行われた。

公益法人認定法第 5 条第 1 号に「他の同一の団体の理事、使用人等である理事の合計数が理事の総数の 3 分の 1 を超えてはならない」という基準があるため、県医師会が公益法人に移行した場合、県医師協同組合、県医師国保組合等の役員を兼ねる人数に制限がかかる。また、役員間で業務並びに報酬に不具合が生じるため、兼務状況に応じ調整が可能な規程案が必要になるとの説明が行われ、検討の結果、変更案を了承後、2 月に開催される県医師会臨時代議員会に上程することが承認された。

出席者—中村(宮崎)・牧野(延岡)・渡邊(日向)・永友(児湯)・槇(西諸)会長  
(県医) 稲倉会長、河野・富田副会長、立元・佐藤・吉田・大塚・濱田・古賀・石川・松本・荒木常任理事、高橋・上田・済陽・金丸・長倉・矢野・直井・峰松理事、大重事務局長、與・小川・竹崎・杉田課長、牧野主事

## 平成 23年度九州学校検診協議会 第 2 回専門委員会

と き 平成 23年 11月 26日(土)

ところ 福岡県医師会館

## 1. 心臓部門 座長：吉永正夫( 鹿児島県 )

## 1) 学校心臓検診について( 宮崎県 )

学校心臓検診は、学校保健安全法に基づき小・中・高の各 1 学年次を実施されている。宮崎県では、一部の町( 西臼杵の 3 町 )で小学校 4 年次にも検診を実施しているが、九州各県において実施している県があるかとの質問に対し、小学 4 年次の検診は、県全体としては熊本県のみが検診費用を各市町村で支出し全県下で実施している。他県では、一部の地域での実施やフォローアップのために実施しているところがあるが、予算の問題や心臓検診を行う委員の労力の問題等があり、積極的には動いていないのが現状であり、経過観察者のフォローをきちんと実施することがコストバランスでは良い等の報告が行われた。

## 2) 学校管理下外の生徒の突然死症例報告及び情報集積について( 長崎県 )

長崎県で、中学 2 年生で J 波症候群( 早期再分極症候群 )の症例があったとの報告があり、心臓検診の中でこういう児童・生徒がいたらフォローしていかなければならない。また、AED の学校現場での使用状況と使用の場合の予後の統計を行い、今後の小児心臓突然死の減少につなげるためにとのことで昨年度 AED の使用状況調査を行ったが、本年度も同様の依頼を九州学校検診協議会長から各県医師会長へ行うので、各県医師会から郡市医師会を通じ、学校医全てに配

布し協力をお願いしたい。

## 3) 心臓病調査票の統一( 共有化 )について

( 福岡県 )

統一病名作成について素案が示され、腎臓検診から遅れているが、心臓検診としても統一病名を作り、各県の比較を進めていきたい。平成 24 年 8 月の九州学校検診協議会でも検討を行い、平成 25 年度からは統一病名で九州各県の心臓検診のデータを集め報告できるのではないかと。併せて心臓病調査票の統一( 共有化 )についても、ワーキンググループでの検討を踏まえて、共有に向けて検討していく。

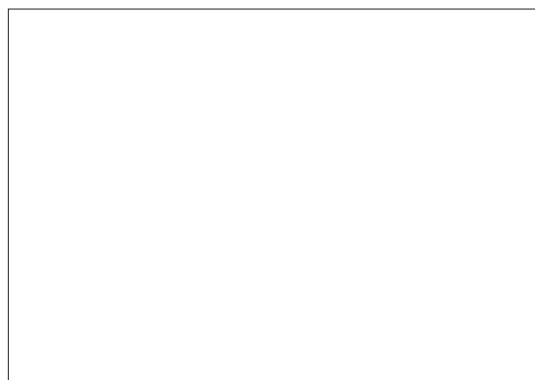
出席者—佐藤県医常任理事，

高村学校医部会理事，小川課長

## 2. 腎臓部門 座長：服部新三郎( 熊本県 )

## 1) 学校検尿についてのアンケート調査の実施について( 宮崎県 )

前回の学校検尿アンケート調査から 10 年



が経過し、その間に九州学校腎臓病検診マニュアルが導入され、学校検尿の現状は大きく変わってきていると考えるので、学校検尿検診状況アンケート調査の実施を改めて行うことが決定され、県医師会を通じ郡市医師会の公立小・中学校にアンケートを送付する。なお、私立小中学校と県立、私立、公立高校は、必ずしも郡市医師会が関与していない場合があるので、各県医師会に一任しできる範囲とする。調査結果は各県医師会でとりまとめ、宮崎県に 3 月中に提出する。

2) 九州学校腎臓病検診マニュアル第 3 版の改訂について( 鹿児島県 )

マニュアル第 3 版の改定内容について検討を行った。現在、日本学校保健会が「新・学校検尿の全て」の改訂版の発行を予定しており、2 ～ 3 年内にできるので、その点を考慮し九州の第 3 版を第 4 版に変更することになるので、今後も必要に応じメール上で意見交換する。

3) 郡市医師会の「学校腎臓病検診委員会」を介さない学校の腎臓病検診について( 長崎県 )

私立小・中学校および多くの高等学校では、医師会と教育委員会による腎臓病検診委員会を介さず、学校単独で検査機関と契約し検尿が実施されている場合が多く、この場合は殆ど本検診システムに頼っていない

ため二次、三次判定、精密検診等の事後処理が不明であるとして、状況等を協議した。私立小・中学校と県立、私立、公立高校については各県必ずしも全体的に把握できていないので、全体の結果にどれくらいの開きが出るか等の検討のため、とりあえず各県で小・中・高の公立、県立、私立、市立の生徒数等を調査し検討することとなった。

4) 九州各県全域における学校検尿に関する調査結果について( 熊本県 )

九州学校腎臓病検診マニュアルの判定基準は、一次・二次検尿とも「+」を採用しているが、マニュアルどおり実施しているのは沖縄、宮崎、長崎 3 県のみで、他の県は「+」、「±」等バラバラである。正確なデータ収集を行うために、できるだけ「+」の検査実施を推進することになった。

5) アンケート調査結果等のデータ管理について( 熊本県 )

第 1 回専門委員会( 平成 23 年 8 月 6 日 )で、福岡県メディカルセンターにデータの管理をお願いすることになったが、具体的な管理・保存内容は、一次・二次検尿の状態、九州学校腎臓病検診マニュアルを使っているかどうか、一次・二次陽性、精密検査結果の 3 つを保管している。同様に熊本県でもデータ管理することになった。

6) 暫定診断名の統一について( 福岡県 )

現在、小児腎臓病学会を中心に「新・学校検尿のすべて」の改訂版を検討しており、暫定診断名も改訂される見通しである。暫定診断名の全国的な統一は、データベース化するために必要と思われるので、現在の状況と今後の本協議会の対応についての報告があった。

出席者—宮田学校医部会理事、高山主事

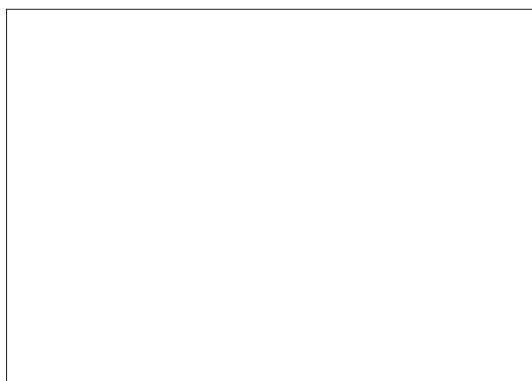
## 3. 小児生活習慣病部門 座長：田崎 考

(佐賀県)

## 1) 九州地区の尿糖陽性例について(佐賀県)

平成 22年度小・中学校尿糖陽性者の集計結果について各県から報告があったが、データ収集のシステムが各県とも整備されておらず、また調査期間が短かったため結果は不十分ということで、平成 23年度も引き続き同調査を実施することになった。

宮崎県では小中学校の一次尿糖陽性者については、各都市医師会が把握しているので他県に比べ比較的データが集めやすい。最終診断名についても、未受診・未報告もあるが、都市医師会である程度把握をしている。高校については都市医師会が関与しておらず今後の課題である。



## 2) 生活習慣病予防検診結果について(佐賀県)

各県でこれまでに実施された生活習慣病予防検診方法を佐賀県がまとめて発表した。まず、採血を実施しているところと、採血は行わずに体型(肥満度)から健診して二次医療機関に紹介しているところに分かれて

いる。採血をしているところも無条件に全員採血しているところと、肥満度で段階を分けて条件付けで採血しているところがある。採血しないで体型からピックアップして直接精査を勧めるというパターンをとっているところもあるが、受診率が非常に低いのが問題である。採血の内容にもバラツキがあり、どのような項目を採血して健診をしていけば有効なのか今後の検討課題である。また、条件付けで採血しているところでは、その結果がどうであったか、どの条件(肥満度何%以上)で行った場合により効率が良いのかなど検討する必要がある。そのためにはガイドラインの作成、また二次健診結果をしっかりと集積することが大切であり、今後さらに検討することとなった。

## 3) 血液一般検査での貧血測定について

(大分県)

大分県より、貧血については血液一般検査で、従来RBC、Hb、Htで判断されているが、現在の測定は殆ど機械化され、MCV、MCHの項目は自動的に計算されるし有用であるので項目を加えたらどうかという案があった。しかし、学校で血液検査をしている例が少なく、また、しているところでも学校検診での項目追加、変更は容易ではない。今後の課題である。

出席者—澤田県学校検診委員会委員、  
久永課長補佐

## 九州各県医師会学校保健担当理事者会

と き 平成 23 年 11 月 26 日(土)

ところ 福岡県医師会館

福岡県の相良常任理事の司会により開会后、担当の福岡県の松田会長より挨拶があった。慣例により松田会長が座長に選出され、協議が行われた。

### 協 議

1. 第 56 回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに平成 24 年度九州学校検診協議会(年次大会)について(福岡県)

福岡県の原口理事より、資料に基づき下記の日程で行う旨の説明があり、原案どおり承認された。

日時 平成 24 年 8 月 4 日(土) 15:00~ 20:30  
8 月 5 日(日) 9:00~ 16:00

場所 ホテルニューオータニ博多

メインテーマ 「子どものレジリエンスを高める学校保健安全教育の推進～しなやかで力強い適応力の育成を目指して～」

2. 放射線から子どもたちを守るための保健安全教育について(福岡県)

【提案理由】福島第一原発事故による放射能汚染は全国に拡大し、国民の不安は日々募るばかりとなっている。なかでも放射線の影響を受けやすい子どもたちを守ることは、学校保健安全教育の重要課題となってきた。全国学校保健・学校医大会前日には「放射線に関する研修」が開催された。また、来年度の九州学校検診協議会(年次大会)では、特別部門を設け、関連の教育講演を企画している。各県医での現段階、今後の具体的取組み、日医の今後の

対応に関し要望等があれば伺いたい。

【協議内容】各県とも現在までのところ放射線の影響等に関する取組みは行われていない。

福岡県の松田会長から、子どもたちの放射線障害に関する健康問題は、正しい知識を子どもたちや保護者に伝える必要がある。内部被曝の問題、食糧安全の問題もある。福岡県医師会では 7 月 29 日付で、日医へ放射線障害について、国民の健康を守る 10 年宣言として、放射線被曝健康管理センター方式で国に作ってはどうかと提言したが、日医からは何のアクションもなくそのままになっている旨の報告があった。また、福岡県の原口理事から、

全国学校保健・学校医大会の前日に開催された文科省主催の放射線に関する研修会の席で、全小中高に対して放射線から身を守るための副読本を作り、11 月中に配布するとのことであり、既に各学校に配布されていると思う。今後の教育、講義等に活用する必要がある、23 年度日医学校保健講習会で、放射線に関する講演も取り入れられている旨が報告された。

3. 児童虐待の早期発見・対応について(福岡県)

【提案理由】先般、厚労省は児童虐待の早期発見・対応につなげるため、各地の小児救急病院やこども病院等に児童虐待専門のコーディネータを配置し、小児科医院などを受診した子どものけがや体のあざ等が虐待によるものかを判断できるよう、医療従事者からの相談や研修会を開催し、中核的な小児医療機関と

開業医らが連携する「児童虐待防止医療ネットワーク」が来年度から全国 10地域を対象に開始され、将来的には全都道府県に構築する方針を固めた。来年度からの導入だが、現段階において既に県行政から本ネットワークに関する説明や相談を受けた県があるか。また、現在、学校医が児童虐待にどのように関与しているか伺いたい。

【協議内容】各県とも現在のところ、県行政から「児童虐待防止医療ネットワーク」に関する説明や相談はない。また、学校医における児童虐待についての具体的な取組み等は行われていないが、行政との共催により児童虐待防止に向けたフォーラムを開催した県や、児童虐待の早期発見対応や養護教諭のための対応マニュアルを配布している県があった。

#### 4. その他

大分県の藤本常任理事から、一昨日の日医学校保健委員会からの話題提供として、放射線の問題で副読本を作成していること、脊柱側弯の見落としの裁判の件、文科省が次年度の新規事業で学校における検診のあり方を検討すること、の3点について報告があった。また、宮崎県の佐藤常任理事から、日医乳幼児保健検討委員会では、保育園保健の充実に向け医師会はどう関わるべきかとしてアンケート調査と提言をとりまとめており、24年2月に最終的にとりまとめられる。基本的には、都道府県で園医部会を作って欲しいとのことになると思うのでよろしくお願いしたい、との報告があった。

出席者—佐藤常任理事、小川課長、高山主事

## 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ

宮崎県医師会では、県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館1階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は、事前の予約が必要となりますので、ご希望の方は開催日の2週間前までに県医師会までご連絡ください。

お問合せ先

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 富高・小川

## 九州医師会連合会第 322 回常任委員会

と き 平成 24 年 1 月 28 日(土)

ところ ホテルニューオータニ佐賀

### 1. 開 会

### 2. 挨拶

九州医師会連合会 池田秀夫会長

(佐賀県医師会長)

### 3. 報 告

#### 1) 日本医師会選挙管理委員会委員及び予備選挙管理委員の選出について(佐賀)

前回の決定に基づき、福岡県医師会と鹿児島県医師会から次のとおり推薦があり日本医師会に名簿を提出した。

・日本医師会選挙管理委員会委員(2名)

松田孝一先生(福岡県医師会)、

園田勝男先生(鹿児島県医師会)

・同予備選挙管理委員(2名)

寺澤正壽先生(福岡県医師会)、

黒木康文先生(鹿児島県医師会)

#### 2) 第 111 回九州医師会連合会総会・医学会および関連行事について(佐賀)

##### (1) 参加者数について

総会 451 名, 7 分科会に 1,486 名, 5 記念行事で 385 名, 延べ出席者数 2,322 名で盛会のうちに終了できた。ご協力にお礼を申し上げますと報告があった。

##### (2) 宣言・決議の取り扱いについて

内閣総理大臣をはじめ 171 の関係者・機関に 11 月 29 日付で送付し, その実現方をお願いした。

### 4. 協 議

#### 1) 日医定例代議員会(4 月 1 日(日)・2 日(月))

における代表・個人質問について(佐賀)

改選年の取り扱いに倣って佐賀県医師会宛に提出をいただき九医連会長, 副会長,

議事運営委員で協議の上, 決定させていただきたい。できれば 3 月 10 日にご意見をいただいて決定できればベストなので 3 月 9 日正午の締め切りとさせていただきたいとのことであった。

#### 2) 九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議の開催(3 月 31 日(土)・4 月 1 日(日)・2 日(月))について(佐賀)

従来通り 3 月 31 日 18 時から新橋の第一ホテル東京で開催する。

4 月 1 日と 4 月 2 日も当日の朝, 9 時から日医の九州ブロック控室で開催する。4 月 1 日, 2 日は次期担当県の任期となるが 3 月 31 日からの連続した日程につき佐賀県から提案させていただいた。ただし, 4 月 1 日, 2 日の諸準備は宮崎県医師会にお願いすることになるのでよろしくお願いしたい。また, 4 月 1 日の朝の行動も慣例通り行いたいのでよろしくお願いしたい。

#### 3) 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議及び九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会(3 月 10 日(土)佐賀市)について(佐賀)

##### (1) 日時: 平成 24 年 3 月 10 日(土)

15: 00~ 16: 20 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議

16: 30~ 17: 30 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会

17: 40~ 18: 30 九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議

18: 40~ 20: 10 懇親会

(2)場所：ホテルニューオータニ佐賀

(3)主な協議事項

- ・九州ブロック推薦次期日医役員等の候補者(理事 2 名, 裁定委員 1 名, その他)

申し合わせでは, 2 年期の理事は福岡県と宮崎県, 裁定委員は福岡県から推薦をいただくことになっている。監事は中四国ブロックとの交互選出につき今回はなしということでは了解された。

- ・平成 24・25 年度における日医代議員会の諸委員(議事運営委員 1 名, 財務委員 2 名)

慣例に従って準備しておきたい。現在, 議事運営委員は長崎の蔭本会長, 財務委員は佐賀の横須賀副会長と福岡の松田会長である。財務委員は平成 24 年の九医連覚書の順番では次期は長崎と熊本から推薦をいただくことになる。協議の結果, 議事運営委員は蔭本会長留任, 財務委員は長崎と熊本で内定した。3 月 10 日の会議で正式決定する。

- ・第 126 回日医定例代議員会における質問者について

協議 1 で決定済み。

- ・同代議員会開催に伴う九州ブロック(次期を含む)日医代議員連絡会議の開催について

協議 2 で決定済み。

- ・日本医師会次期会長候補者の推薦について

福岡県医師会松田会長から日本医師会横倉副会長の推薦を決定いただきたいとの提起があり協議の結果, 全会一致で常任委員会として推薦を決定した。正式決定は 3 月 10 日に行う。

- ・日本医師会次期役員等候補者の推薦届出と都道府県医師会選出日医代議員への文書による協力依頼等について

詳細は 3 月 10 日に。

- 4)九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議(3 月 10 日(土)佐賀市)について(佐賀)

協議の結果, 地域医療対策委員会(安里哲好委員報告), 労災・自賠責対策委員会(大橋輝明委員報告)に決定した。

- 5. その他

- 1)宮崎県稲倉会長から, 第 112 回九州医師会医学会総会記念行事のうちテニスの日程変更と卓球の中止の報告がありました。

- 2)佐賀県池田会長から, 保険医療機関指定更新時の集団指導に関する情報が提供された。

- 6. 閉 会

出席者—稲倉会長, 大重事務局長

## 宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館 1 階の「医療情報コーナー」では, 分かりやすい医療や介護の本, 闘病記のほか, 難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVD などを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので, お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索, ビデオ・DVD の視聴もできます。

開室時間 月～金曜日 10:00～19:00, 土曜日 10:00～18:00

休館日 日曜・祝日, 12 月 29 日～1 月 3 日, 8 月 14～15 日, 特別整理期間(3 日間)

〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地

TEL 0985-22-5118 E-mail tosho@miyazakimed.or.jp

## 平成 23 年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

と き 平成 23 年 11 月 30 日(水)

ところ 日本医師会館

### 1. 開 会

### 2. 会長挨拶 原中 勝征会長

診療報酬・介護報酬の同時改定に向け、まず医療費 2,200 億円の自然増は確保すること、それからネットで医療費を必ずプラス改定にすることを、昨日、野田総理大臣に申し入れ、十分考慮するとのお言葉をいただいた。

私は、「勤務医」や「開業医」という分け方をしたのは何のためか、両者とも一生懸命医師として働いている姿勢を何で分けているのだ、といろいろなところで申し上げている。今、開業されている先生方のほとんどが以前は勤務医だったはずである。

勤務医も、やがて後輩に席を譲らなければいけなくなったときにおそらく大半は開業医を目指していくだろう。そのときに開業資金を借りなければいけない。要するに事業者としての立場を取っていくわけであり、医師の場合は定年まで勤める医師は少ない。しかも、若いときにいろいろな病院を渡り歩いたことで、年金に入っていない医師も非常に多い。そのような中で、やがて開業したときに悪者にするようなことは止めるよういろいろな所で話をしている最中である。あくまでも医療というのは、診療所と病院、病診連携ということで患者の命を救うこと、苦痛を和らげること、これを連携プレーで行っているときにその色分けをすることは間違いだと申し上げたい。

医師は、倫理観に基づいて 1 つの心になっ

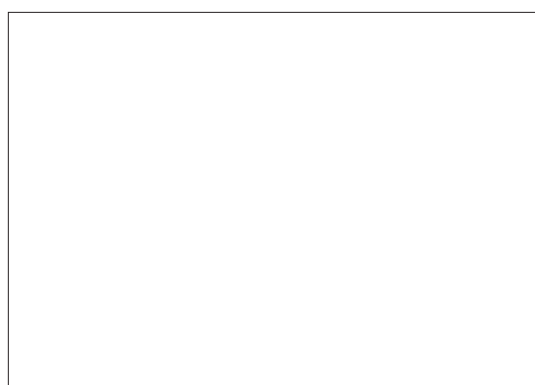
て患者のために働くということ、患者のためにわれわれがいるのだということをもう一度理解していただき、お互いが医師としての責務を果たすためにどういう医療制度を作らなければいけないかを考えなければいけない時期に来ているだろう。

受診時の定額払いについては、反対の署名運動により、民主党から、見直さなければならない項目の 1 つに入れていただく方向になった。署名していただき、感謝申し上げます。

このような状況で、人が少ない中でも当直をし、夜遅くまで患者の容態を診るために残っておられる勤務医の先生方がいかに大変かということが分かる。ただし、医師として生涯どのような生活をするかということを考えたうえでお互いの協働行動を取らなければいけないと考える。

また、大変実りのある全国医師会勤務医部会連絡協議会を富山県で行っていただき御礼を申し上げます。多くの先生方が参加してくださった。

診療所の先生、勤務医の先生方のそれぞれに喜びと苦しみがあると思う。それをストレートに勤務医部会または所属医師会をとおして日本医師会に上げていただければ、勤務医委員会も含めてきちんと討議をして先生方が少しでも働きやすい環境を作る努力をするので、忌憚のないご意見あるいはご提案をいただきたい。



### 3. 議 事

#### 【報告】

#### 1) 全国医師会勤務医部会連絡協議会報告 平成 23年度報告

富山県医師会理事 南里 泰弘

去る 10月 29日に、平成 23年度全国医師会勤務医部会連絡協議会を富山県医師会の担当で開催した。メインテーマを「勤務医の働き方と生きがい」、サブテーマを「よりよい就労環境を求めて」とし、特別講演 2 題、基調講演 1 題、日本医師会勤務医委員会からの報告、被災地からの報告、パネルディスカッションを行った。

当日は日医から 31名、富山県外から講師を含めて 273名、富山県内からは 146名、合計 450名の先生方にご参加いただき、昨今の救急医療の崩壊、地域中核医療を担う病院勤務医不足、そして 3月 11日に起こった東日本大震災等を踏まえて、勤務

医離れ・医師不足をこれ以上広げないための方策について協議した。最後に、富山宣言を満場一致で採択し協議会を終了した。日医役職員および各都道府県医師会の皆様にご協力いただいたことに厚く御礼申し上げたい。

平成 24年度担当医師会挨拶

愛媛県医師会理事 佐藤 博彦

来年度の協議会は平成 24年 10月 6 日(土)に、愛媛県松山市の「松山全日空ホテル」で開催する。メインテーマやプログラムについては準備中であるが、愛媛県内の地域それぞれが持つ問題点やそれらに対する独自の取組みなどとともに、同時改定など来年度のさまざまな動きを絡めた協議会になるよう、関係役員・職員一同で準備を進めている。多くの先生方のご参加をお願いする。さらに 12月末には、新しい愛媛県医師会館が完成予定となっており、最上階の会議室からは、パノラマのように松山城がご覧いただける予定である。ぜひ新会館へもお立ち寄りいただきたい。

#### 2) 勤務医の健康支援に関するプロジェクト委員会活動報告 今村 聡 常任理事

当委員会は、勤務医の勤務条件や労働環境は想像を絶する、勤務条件の影響で健康を害した医師が多数いる、医師の健康確保は患者安全につながる、医師の健康支援は医療再生に不可欠である、こういう視点で発足した。

これまでの主な活動は、「医師が元気に働くための 7 カ条」と「勤務医の健康を守る病院 7 カ条」の提案や勤務医の健康支援のための健康相談、医師の職場環境改善ワークショップ研修会の開催、日本医学会分科会への医師の健康支援に関するシンポジウムやワー

クシヨップの開催依頼，医師の労働時間の設計基準に関する現場実証調査研究などであった。

ワークショップについては平成 21 年度に日医で開催し，22 年度は熊本，岡山，京都の 3 府県医師会で開催していただき，今年度は岐阜等の 8 都県で開催していただくことになっている。このワークショップ終了後に実施したアンケート結果も好評であり，「医師の職場環境改善に取り組む必要性などを再確認できた」といった声もいただいた。また，一方で逆に要望もあり，「病院間に差がありすぎて議論が深まらない」等，さらなる研修会の内容の充実も重要になってきている。

医師の労働時間の設計基準に関する現場実証調査研究については，さまざまな知見集約，労働時間ガイドラインの現場適用作業を行い，今年度中に実際に適用したものの実証研究と最終的な設計基準案を作成する予定である。

今後も，医師の職場環境改善ワークショップ研修会のさらなる展開や各都道府県医師会における開催，講師・ファシリテーターの養成とともに各学会等におけるシンポジウムの開催，勤務医の労働時間ガイドラインの提案などを行っていく。

### 3) 勤務医委員会臨床研修医部会活動報告

三上 裕司常任理事

臨床研修医部会は平成 21 年度に設置された。臨床研修医は医師の第 1 ステージであり，医療の現場で働く勤務医であるが，医師会活動等を通じて医師会に意見を言う機会が非常に少ない。臨床研修における問題点や改善点について，この会議のなかで自由に討論してもらい，その意見等を吸い上げながら会務に反映していきたい。

卒後 1 年目から 5 年目までの若手医師 11 名が参画し，勤務医委員会委員がオブザーバーとして参加している。

現在までに計 6 回の会議が開催され提言がなされた。この提言等を受け，平成 23 年度全国医師会勤務医部会連絡協議会の前日に，富山市内で勤務医委員会臨床研修医部会 in 富山を開催した。また，11 月 25 日には部会を開催し，個々の体験に基づいて現在研修中の教育プログラムなどについて意見交換を行った。

また，日本医師会は 4 月 1 日から研修医のために「日本医師会臨床研修医支援ネットワーク」を開始している。特に日医の医学図書館の利活用については非常に好評を得ており，ぜひご利用いただきたい。「日医会員特別割引ホテルオンラインサービス」も，学会等で地方に行かれる場合に日本医師会の特別料金で利用できるものでぜひ活用いただきたい。

### 4) 都道府県医師会からの勤務医活動報告

東京都(東京都医師会理事 弦間 昭彦)

東京都医師会では勤務医委員会を設置しており，最近，勤務医の労働環境の問題点と改善策，患者対応の問題点と対応策について検討し答申した。

まず，病院の経営環境は大変厳しいものがあり，新医師臨床研修制度の導入や後期高齢者医療制度の発足などで病院の現場にはさまざまな混乱が生じている。なかでも勤務医の業務の負担が増大し離職する医師が増加しているとの報道もあることから，病院勤務医の実態を把握しその問題点を同定することにより勤務環境の改善を図るため，アンケート調査を実施した。

その結果，この数年間で医師の業務が

実態として増加していることが明白になった。増加の一部は事務系の仕事など非診療行為が大きく、それがさらに業務の負担感として反映されている。救急患者の増大、救急への対応の負担、新医師臨床研修制度導入に伴う大学病院での変化が業務の負担を増大している。また、患者の意識変化に伴う訴訟リスクの増大が負担感に拍車をかけ、多くの病院勤務医が離職を考えていることも判明した。

以上のようなことから医師の業務の見直しと他職種への業務の代替、当直や救急体制の問題、女性医師への支援、臨床研修制度の改善等について対策が必要である。

石川県(石川県医師会理事 久保 実)

石川県医師会は勤務医の過重労働や疲弊感を改善するために平成 4 年度に勤務医部を創設し、会員増強委員会と活動方針検討委員会の 2 つの委員会を設置し活動してきた。また、総会時には病診連携や勤務医問題などの特別講演やシンポジウムを開催している。

平成 8 年 10 月には全国医師会勤務医部会連絡協議会を担当し、平成 20 年 3 月に勤務医基本問題検討委員会が勤務医の抱える諸問題について答申し、勤務医に対しては小冊子「声をあげよ、勤務医」を発刊して、勤務医自身の発奮と自助努力を促している。

平成 20 年度に勤務医部の両委員会で諮問結果を基にして、具体的勤務医支援策について検討し、すぐに実行可能なものと将来の検討課題とに分け理事会に提案した。

平成 22 年度には医師会内の勤務医支援総合対策委員会を設置し具体策を検討

した。また、金沢市医師会勤務医部と共催で「第 4 回勤務医フォーラム」を開催し、「勤務医フォーラム宣言」を採択、勤務医の労働環境の改善について内外にアピールした。

平成 22 年度は勤務医支援総合対策委員会の具体策のうち勤務医担当理事の増員、初期臨床研修医会費の無料化、勤務医の就業実態に関するアンケート調査を実施した。

平成 23 年 9 月の第 6 回勤務医フォーラムでは、「石川県における地域医療再生計画の進捗状況について」をテーマに、能登北部と南加賀における医療体制の再構築と医師確保などの施策について議論した。

しかしながら勤務医部のこうした活動にもかかわらず、一般勤務医会員の医師会への関心は低く、組織率も低迷しているのが現状である。なかなか良い策はないが、地道に各種の施策を実施し、活性化につなげたい。

岐阜県

(岐阜県医師会常務理事 臼井 正明)

岐阜県医師会勤務医部会は、岐阜県における勤務医の医学医術の研鑽、医道の推進、勤務環境の向上、会員相互の福祉の増進および親睦を図ることを目的に昭和 61 年に設立された。平成 23 年 3 月 31 日現在、会員は 1,210 名、年会費は 2,000 円である。

勤務医部会には、部会内の最高議決委員会として 32 名の委員で構成される運営委員会、下部委員会としての常任運営委員会および専門委員会として総務委員会、学術委員会、学術選考委員会、Ⅱ 委員会、男女共同参画委員会がある。

総務委員会では、勤務医部会のあり方、

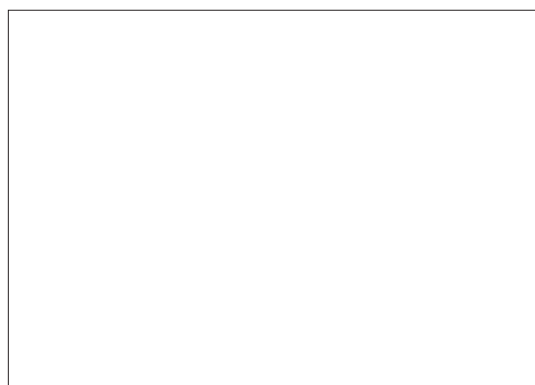
規定改正など庶務的な事案および広報活動について、また、学術委員会では、年 2 回開催される学術研修会のテーマや講師選定などについて協議している。

今年度 8 月の学術研修会では「人工および自然放射線と被曝について」を開催し、東日本大震災の発生から 1 年となる 3 月には「災害医療(仮)」を開催予定である。

平成 14 年度に発足した学術選考委員会では、平成 16 年度から始まった医学技術の研鑽、医道の推進、勤務環境の向上のための調査・研究助成事業における助成金の授与候補者を選考委員会規定に基づいて選考し、本会理事会に推薦している。

Ⅱ 委員会は今後のⅡに関する重要性を考慮して設置され、会内の情報システム委員会と連携が必要不可欠であることから合同で委員会を開催している。

県医師会に設置された男女共同参画委員会の委員に多くの勤務医が参加している。女性医師の就労環境は病院においても大きな課題であって勤務医部会との関連が強いので、勤務医部会内にも男女共同参画委員会を設置し活動している。



#### 【協議】

テーマ「震災における活動を通じた医師の協働」  
(日医、各都道府県医師会からの提案事項等につ

いて意見交換)

東京都医師会は、災害地域への医療救護支援について、被災地域に派遣されている医療救護班の活動の統制について、災害拠点病院への患者集中をどう解決するか、その他の病院をどう位置付けるか、地域医療再生のため、通常状態への移行をどう計画するか、医師の協働を考える上で、これらの問題を踏まえ、医師会と行政を中心とした医療救護班統括などの施策が重要だと問題提起した。

岐阜県医師会は、震災直後のDMAT活動を踏まえ、組織間の連携を円滑に行うために統括できるような人材の育成や被災地で医療活動を行う際の情報伝達と医療チームの必要性が判断できるようなシステムの構築、さらには通信手段の確保などが重要であると要望した。

京都府医師会からは、多職種連携のためのチーム医療の研修が役立ったこと、日医JMATの要請に勤務医(医師会員・非会員を問わず)・開業医あわせて 158 名の応募があったことが報告された。

大阪府医師会は、刻々と変化する現地状況に合わせた支援が円滑に行えるように指揮できる人材の養成を含め、国に対し日本DMATと日医JMATが同じ機動力を発揮できるよう、今回の活動を検証し派遣体制を万全にしなければならないと要望した。

フロアからは、日医に対し現地の情報収集は指揮系統の一元化を図るようといった要望が多かった。

最後に勤務医委員会の望月副委員長が以下のようにコメントした。

今回の東日本大震災で多くの医師がDMAT、JMAT、自らの意思で協働して被災地に入っただき、本当に感謝している。

今回の大震災の特徴は、黒タックか緑タックで、きわめて初期・急性期の救急期間がほとん

どなかったということである。阪神淡路大震災を想定したDMATが岩手県だけで128隊も翌日に来ていただいたが、結局、患者搬送や避難所の医療活動に携わっていただいた。

各県の災害対策本部は必ず県庁所在地にできる。岩手県の場合には盛岡に災害対策本部が立ち上がった。そこでは自衛隊や警察・行政の災害対策であるので、われわれは受け入れ側として医療に関する災害医療のネットワークが必要ではないかと考え、1週間たってからようやくそのネットワークが立ち上がった。すべての医療支援チームはそのネットワークですべて受け入れ、原則自己完結型であるとか、あとはどこに行ってもらいたいなどの配置も県医師会、行政、大学医師会、県立病院と全部が入った災害医療のネットワークで毎日朝晩ミーティングをして情報収集を行い配置した。

また、現地でのコーディネートについては、結局、現地をよく知っている災害拠点病院、残っ

た病院の拠点病院の先生あるいは現地医師会の先生が、その受け入れ等について、毎朝ミーティングを行ったという状況であった。

災害の規模あるいは急性期・亜急性期・慢性期に応じて対応できるように、日頃から医療支援チームは訓練をし、県単位の医療・介護・福祉の連携したチームを作って支援をしていくことが必要ではないか。

#### 4. 総括 三上 裕司常任理事

震災に対してDMATがスタートしたわけであるが、ご協力いただいた先生方に感謝する。参加いただいた勤務医と開業医の比率は日医の組織率と全く同じということである。

日医として今回のDMATチームおよび震災全体を検証して今後の災害に備えたい。

#### 5. 閉会

出席者 - 上田理事、鳥井元係長

## 宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

### MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供(各種通知文書、研修会の案内等)

対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

### 会員交流用メーリングリスト

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

問合せ先：宮崎県医師会 地域医療課

TEL 0985-22-5118

## 日医 FAX ニュースから

### ■ 医療本体の営利産業化は反対

#### — 医療政策会議が答申 —

日医の「医療政策会議」は、会長から諮問を受けていた「医療を営利産業化していいのか」について答申した。医療本体の営利産業化は許してはならないとし、医療は資本利得のために用いられるべき産業分野ではないと指摘した。「健全な(非営利・公益)産業として、医療は世の中に大きな貢献を果たす」とし、社会保障制度を通じた適切、十分な支援が必要とも提言した。2月8日の定例会見で、中川俊男副会長が公表した。

医療政策会議は都道府県医師会の会長と学識経験者らが委員を務める。報告書の執筆は山口二郎委員(北海道大大学院法学研究科教授)、二木立委員(日本福祉大社会福祉学部保健福祉学科教授)、桐野高明委員(国立国際医療研究センター総長・理事長)、権丈善一委員(慶応大商学部教授)が担当した。

山口委員は「ポスト 311 の社会保障と政治」と題して、東日本大震災以降の社会保障政策や民主党政権の動向などをまとめた。医療は人間の生命と尊厳を守るためにあるとし、踏み外すような政策には厳しく対峙しなければならないとした。

二木委員は「TPP と今後の日本医療」と題して、環太平洋連携協定(TPP)が日本の医療に与える影響を考察した。米国が第1段階として医療機器・医薬品価格規制の撤廃・緩和を要求してくるとし、「実現する可能性が高い」とした。第2段階として、医療特区での株式会社による病院経営の解禁と混合診療の原則解禁を、第3段階として、第2段階の施策を全国レベルで展開することを求めてくると予測した。

桐野委員は「医療の営利産業化より医療関連産業の強化を」をテーマとした。医療そのものの収

益性を上げて「医療産業化」するのではなく、医薬品や医療機器で世界の先頭に立つ体制を構築して「医療産業化」を達成すべきと主張した。

権丈委員は「医療保障政策と医療団体の政治経済的位置」と題し、なぜ、医療に民間企業の新天地を求める圧力が絶えず存在するのかを経済学的に考察した。(平成 24 年 2 月 10 日)

### ■ 政府、共通番号法案を閣議決定

#### — 医療情報は春以降に本格検討 —

政府は2月14日、社会保障・税の共通番号の導入に向けてマイナンバー法案を閣議決定し、国会に提出した。法案が成立した場合、政府は2014年6月に個人や法人に番号を交付し、15年1月以降、可能な範囲で番号の利用を始める予定だ。厚生労働省はマイナンバー運用を視野に入れ、今春以降、医療情報の取り扱いに関する特別法案作成に向けて議論を本格化させる。

マイナンバー法案の正式名称は「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律案」。政府は同日、関連法案も閣議決定した。マイナンバーを担当する古川元久国家戦略担当相は閣議後会見で、番号制度について「社会保障の仕組みを大きく変えて、真に手を差し伸べることが必要な人に、必要な社会保障給付を行うためのインフラ」と説明した。

政府はマイナンバーについて、税、医療保険、年金、雇用保険分野などで活用していく方針だ。医療・介護などに関する自己負担の合計額に上限を設ける「総合合算制度」や、低所得者に現金を還付する「給付付き税額控除」も想定している。

#### ● 医療情報の特別法案、4 月ごろから議論

しかし、医療分野では特に取り扱いに注意すべき情報もあるため、政府・与党が昨年6月にまとめた社会保障・税番号大綱では、こうした情報について「機微性や情報の特性に配慮した特段の措置を定める法制を番号法と併せて整備す

る」とした。

今後、厚労省が内閣官房と連携しながら、特別法案の作成を担う。政府の「番号制度に関する実務検討会」の社会保障分野サブワーキンググループと、厚労省の「医療機関等における個人情報保護のあり方に関する検討会」を4月ごろに合同で開催し、議論をスタートさせる見通しだ。

(平成24年2月1日)

## ■ 医療へ活用には環境整備が必須

— 石川常任理事 —

2月14日に政府が閣議決定し、国会に提出したマイナンバー法案について石川広己常任理事は「現時点で、番号を医療情報と結び付けて活用してはならない」との見解をあらためて述べ、番号が導入されればすぐに医療機関の窓口で活用されとの誤解を招いてはならないと指摘した。15日の日医定例会見で見解を述べた。

石川常任理事は番号を医療現場で活用する問題点として、プライバシーの問題、個人情報漏えいの問題、受診抑制などの管理医療への懸念などを挙げた。「これらに対する十分な検討や懸念が払拭されない限り、医療分野での番号の活用は認められない」とし、医療分野での特別法などの環境整備が必須だと強調した。番号が導入されれば医療機関の窓口ですぐに活用できるかのような報道が一部にあるとし、正確な情報発信を求めた。

(平成24年2月1日)

## ■ 医療事故調、

### 制度化へ本格議論を再開

— 厚労省検討部会が初会合 —

厚生労働省の「医療事故に係る調査の仕組み等のあり方に関する検討部会」は2月15日、同省内で初会合を開き、医療事故調査の仕組みや再発防止の在り方を検討するに当たり「医療事故調査を行う目的」からあらためて議論を始めることなど今後の検討方針を固めた。

初会合では医師法2条をめぐる捜査機関との

関係や調査の対象・範囲について構成員から活発な意見が出た。医療事故調査の制度化をめぐることは、厚労省はこれまで第3次試案(2008年4月)や医療安全調査委員会設置法案(仮称)大綱案(同6月)を示してきたが、政権交代で議論は頓挫。民主党からの代案(民主党案)についても議論の進展はなく、国による本格的な検討が08年12月以来3年ぶりに再開することになる。

医療事故の原因究明・再発防止については、昨年8月から開催されている無過失補償制度をめぐる検討会(検討部会の親会議)の検討課題でもある。厚労省は新たな検討部会の設置によって医療事故調査制度の構築に向け集中的に審議を進める考えだ。

検討部会の座長には、山本和彦・一橋大大学院法学研究科教授が就いた。当初就任予定だった里見進・東大病院長が多忙を理由に辞退した。山本座長は会合終了後、メディファクスの取材に応え、期限を切らずに検討する考えを示し、従来の議論を踏まえながらも一から議論を積み上げていく方針を示した。また、構成員は何らかの制度が必要であるとの意見で一致しているとした上で「調査の対象・範囲や医師法2条などの問題はあがあるが、必要であると一致できれば、制度化は進むだろう」とした。

この日の会合では、日本医療安全調査機構から診療関連死調査分析事業の概要をヒアリングし、院内事故調査委員会に外部委員として機構が関与する「協働型調査モデル」(5事例で導入)の概要説明があった。山本座長は、メディファクスに対し「全国に広げることを考えると、患者からの申し立てへの対応や評価件数が限定されていること、受付件数の地域差などといった問題は残るが、一つのモデルになる」と評価した。

医療事故調査制度については日医や関連学会がそれぞれ提言を示している。調査目的や対象・範囲の検討の参考とするため、検討部会ではヒアリングの場を設ける考えだ。

(平成24年2月21日)

## 医師協同組合だより

医療関係者の皆様へ

(先生, 職員, 看護学生, ご家族全ての医療関係者様)

# 平成 24 年度 NTTドコモの幹旋について

医療関係者の皆様! 医協特別割引をご利用ください  
医協割引は, 店頭割引で最大です

(1) 対象: 普通携帯(iモード携帯)・スマートフォンとも

新規購入

機種変更

} 医協割引だから店頭割引で最大 5,250 円割引

適用条件: 初回 30 日間無料オプション加入で 5,250 円割引, たとえば→

(例) iチャネル, iコンシエル, iBodymo, ケータイ補償お届けサービス  
上記, 必要ない場合は 1 か月後にドコモ店頭ではずしてください

更に, 機種によっては

ドコモ指定の基本オプション追加割引で最大 8,400 円割引

(例) 2 in 1 ... 普通携帯(iモード携帯),

DCMX カード加入... 普通携帯(iモード携帯), スマートフォン

(2) 個人の各割引はそのまま利用できます

- ・ドコモ各ショップの各種割引・プレゼント
- ・個人オプション契約による割引, 個人ポイントの利用ができます

(3) 手続きについて

提携ショップで『医師会』(この用紙呈示でも可)と言って下さい

お支払いは割引後の金額を窓口でお支払い下さい

詳しくはドコモ店頭でお尋ね下さい

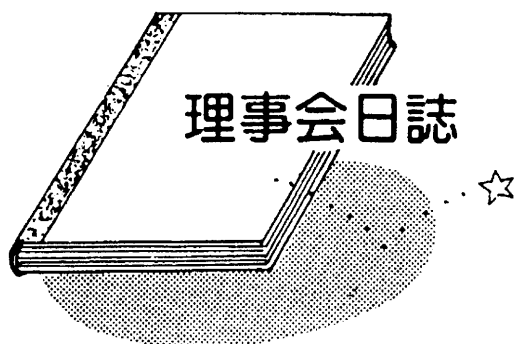
(4) 提携店舗は次ページをご覧ください

●お問い合わせは

宮 崎 県 医 師 協 同 組 合 へ

TEL( 0985)23-9100・FAX( 0985)23-9179

docom o



平成 24 年 1 月 10 日(火) 第 24 回常任理事会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 1 / 26(木) JA AZM ホール ) 社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導の実施について  
3 医療機関を対象に行われる新規個別指導で、済陽理事を立会人として派遣することが承認された。
2. 1 / 26(木) JA AZM ホール ) 社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について  
新規個別指導に引き続き 2 医療機関を対象に行われる個別指導で、済陽理事を立会人として派遣することが承認された。
3. 2 / 2(木) 門川 ) 社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について  
立元常任理事を立会人として派遣することが承認された。
4. 平成 24 年秋の叙勲候補者の推薦について  
学校保健の功労に関連して、郡市医師会から 1 名の申請があり、推薦することが承認された。
5. 後援・共催名義等使用許可について  
2 / 25(土) サンホテルフェニックス ) 名義後援のお願いについて  
→「住みなれた街で最後まで安心して暮らすことを支える」をテーマに、県民等を対象に開催される基調講演とシンポジウムで、名義後援を行うことが承認された。
6. 4 / 21(土) 宮観ホテル ) 講師派遣依頼について  
県柔道整復師会が、会員の資質向上を目的に毎年開催している学会の特別講演講師の派遣依頼で、人選を県整形外科医会に依頼することが承認された。
7. 宮崎県感染症発生動向調査事業における指定届出機関の推薦について  
任期満了に伴う意向確認によって、小児科定点(インフルエンザ定点・擬似症定点を兼ねる)1 医療機関の辞退申し出があったため、新たに美郷町国民健康保険西郷病院を推薦することが承認された。
8. 3 / 2(金) 日医 ) 平成 23 年度臨床検査精度管理調査報告会の開催について  
参加施設の臨床検査の質的向上に資することを目的に開催される報告会で、宮崎市郡医師会臨床検査センターの検査技師 1 名の出席が承認された。
9. 平成 24 年度の特定健康診査等の集合契約に係るご提案について  
平成 23 年度と同様の特定健康診査委託料単価(基本的な健診項目 7,850 円)で、集合契約を行うことが提案され、九州各県の契約状況等を勘案した上で、提案通り契約を行うことが承認された。
10. 2 / 3(金) 静岡 ) 第 1 回全国メディカルコントロール協議会連絡会の開催について  
消防機関と救急医療機関等との連絡協議会の質を全国的に底上げし、救急業務の高度化に資することを目的に開催される連絡会で、古賀常任理事が出席することが承認された。
11. その他  
九州保健福祉大学総合医療専門学校看護学科入所定員増に係る同意書について  
→看護学科の入所(入学)定員を 20 名増員し一学年 60 名にする計画に対する同意依

頼で、検討の結果同意することが承認された。ただし、付帯意見として県内の看護師不足に対応するため、卒業者の本県就職率のアップにも尽力してもらうよう要望することが承認された。

（報告事項）

1. 週間報告について
2. H 23.12 月末日現在の会員数について
3. H 23.12/22(木) (県庁) 県立病院事業評価委員会について
4. 1 /4(火) 宮観ホテル) 新年賀詞交歓会について
5. H 23.12/21(水) 宮崎労働局) 労災診療指導委員会について
6. H 23.12/21(水) (県医) 県有床診療所協議会役員会について
7. H 23.12/27(火) 九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
8. 1 /10(水) (県医) 治験審査委員会について
9. H 23.12/21(水) (県庁) 県歯科保健推進協議会成人期部会について
10. その他  
公益法人化準備委員会について  
電子レセプト請求における各点数の算定日の記録について

医師連盟関係

（議決事項）

1. 1 /21(土) (K ITEN) 「藤井裕久・民主党税制調査会長」を迎えての特別講演会開催のご案内について  
税と社会保障の一体改革を進めるにあたって中心的役割を果たしている人物でもあることから、出席者については、後日、事務局から確認を行うこととなった。

（報告事項）

1. 1 /7(土) 宮観ホテル) 三師会合同新春懇談会について

平成 24 年 1 月 17 日(火) 第 23 回常任理事会

医師会関係

（議決事項）

1. 本会外の役員等の推薦について

宮崎県献血推進協議会委員の推薦について

→ 任期満了に伴う推薦依頼で、引き続き古賀常任理事を推薦することが承認された。

生活保護法に基づく福祉事務所嘱託医の推薦について

→ 現嘱託医(内科)の辞任申し出による後任の推薦依頼で、篠原義成先生を推薦することが承認された。

2. 1 /24(火) (県医) 各都市医師会長協議会について

1 /17(火)の都道府県医師会長協議会、日医連執行委員会の報告を中心に開催されることが承認され、その他、レセプトの突合点検・縦覧点検等についても説明を行うこととなった。

3. 3 /11(日) (日医) 平成 23 年度医療政策シンポジウム開催案内および参加者派遣依頼について

「災害医療と医師会」をテーマに開催されることもあり、救急医療担当の古賀常任理事が出席することが承認された。また、TV 会議システムを用いて日本医師会が配信する映像を県医師会で受信することが承認され、県内での参加については、改めて各都市医師会等に案内することとなった。

4. 業務委託について

平成 23 年度必要医師数実態調査の委託について

→ 県地域医療支援機構が設立されたことから県内の病院を対象に行う実態調査の

委託で、調査項目に実情に応じた診療科目を追加すること等変更を加えた上で契約を締結することが承認された。

うつ病医療体制強化事業業務の委託について

→ 昨年の「かかりつけ医うつ病対応力研修事業」が大幅に拡充され、新たに市民向けの研修とかかりつけ医マニュアルの検討等が加えられた事業で、契約を締結することが承認された。

5. 平成 24 年九州各県花粉情報の観測について  
環境省の花粉観測システム「はなこさん」との重複も疑問視されたが、20 年以上の歴史と花粉自動計測器の問題点を補う情報源として有効であることから、例年通り 1 / 31 ~ 4 / 30 の調査期間(報道期間 2 / 1 ~ 4 / 15), 観測に協力することが承認された。

(報告事項)

1. 1 / 11(火) 宮観ホテル 病院部会・医療法人部会合同理事会について
2. 1 / 14(土) 県医 産業医研修会について
3. 1 / 15(日) 日医 日医医療事故防止研修会について
4. 1 / 16(月) 県医 広報委員会について
5. その他  
公益法人化準備委員会について

平成 24 年 1 月 24 日(火) 第 14 回全理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 2 / 16(木) JA A Z M ホール 社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について  
6 医療機関を対象に行われる個別指導で、石川常任理事を立会人として派遣することが承認された。
2. 本会外の役員等の推薦について

暴力被害者等に対する医学的指導のための医師の推薦について

→ 引き続き、現在ご就任いただいている佐藤志保先生を推薦することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

3 / 14(火) U M K スポーツスタジオ【介護保険制度改正 特別講演会 & 福祉機器展 in みやざき 2012】後援について

→ 介護保険制度の改正と 4 月から義務化される福祉用具個別サービス計画等を演題に開催される講演会で、参加費も無料のことから名義後援を行うことが承認された。

3 / 12(金) 大分「九州医療シンポジウムアルツハイマー型認知症をもっと知ろう」(仮)後援方(名義)依頼について

→ 宮崎・鹿児島・大分の新聞社を中心に、3 県持ち回りで行われている市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

4. 県医師会館の日曜日の会館貸与について  
対応職員の勤務状況等を勘案した上で、3 月 11 日(日)の会館貸し出しを許可することが承認された。
5. 2 / 25(土) 県医 県医師会創立 123 周年記念医学会について

当日の進行について協議が行われ、司会進行を立元常任理事、医学賞の選考結果説明及び医学賞講演の座長を上田理事、特別講演座長を稲倉会長が務めることが承認された。

6. 役員報酬について

公益法人認定法第 5 条第 1 号に「他の同一の団体の理事、使用人等である理事の合計数が理事の総数の 3 分の 1 を超えてはならない」という基準があるため、県医師会が公益法人に移行した場合、県医師協同組合、

県医師国保組合等の役員を兼ねる人数に制限がかかり、役員間で業務並びに報酬に不具合が生じるため、兼務状況に応じ調整を行う規程案が示され承認された。また、引き続き開催される各都市医師会長協議会に提案することが承認された。

7. 会費減免申請について

本会会員として 20年以上在籍、かつ満年齢 80歳に達しているとして、高齢による会費減免(県医)1件が承認された。

8. 学童期運動器検診の研修会について

児童生徒の運動器障害の予防・早期発見のため主に学校医の先生方を対象に行われる研修会で、県医師会のテレビ会議システムを利用し開催することが承認された。

9. 3 / 1 (木) 日医 平成 23年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会の開催について

松本常任理事が出席することが承認された。

10. 看護教育充実支援事業費補助金交付要綱の制定について

宮崎県地域医療再生基金の拡充分の一部で、看護基礎教育の充実及び看護教員の資質向上を図ることを目的に、看護師等養成所を設置する法人に対し 1 課程あたり 100万円の補助金を交付する事業で、要綱等の説明が行われ承認された。

(報告事項)

1. 1 / 11 (木) 支払基金 支払基金幹事会について

2. 1 / 11 (木) 日医 都道府県医師会長協議会について

3. 1 / 19 (木) JA A Z M 別館 新規保険医療機関への説明会について

4. 1 / 18 (木) 日医 日医乳幼児保健検討委員会について

5. 1 / 19 (木) 県企業局 県高齢者保険福祉計画・県介護保険事業支援計画策定委員会について

6. 1 / 22 (木) 県医 県医緩和ケアチーム研修会について

7. 1 / 19 (木) 日医 日医ホームページ検討WGについて

8. 1 / 21 (土) 宮大医学部 メディカルトライアングルシンポジウム in 宮崎について

9. 1 / 12 (木) 南那珂 社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

10. 1 / 18 (木) 県医 勤務医部会理事会について  
医師国保組合関係

(報告事項)

1. 1 / 20 (金) 県医 医師国保定例事務監査について

医師協同組合・エムエムエスシー関係  
(報告事項)

1. 医協運営委員会について

医師連盟関係  
(報告事項)

1. 1 / 21 (土) K I T E N 民主党県連特別講演会について

2. 1 / 17 (木) 日医 日医連執行委員会について

平成 24年 1月 31日(火) 第 24回常任理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 2 / 23 (木) 都城 社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について

立元常任理事を立会人として派遣することが承認された。

2. 3 / 5 (月) 日医 都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会の開催について

日本医師会が主催する診療報酬改定の説明会で、担当役員の参加が承認された。また、その復講として、各都市医師会社会保険担当理事連絡協議会を 3月 12日(月)に開催することが決定した。

## 3. 本会外の役員等の推薦について

宮崎地域・職域連携推進協議部会の委員  
任期満了に伴う推薦等について

→宮崎県健康づくり推進協議会の部会として、県内の地域・職域連携による保健事業等の企画立案、実施運営、評価等を行う協議部会で、引き続き古賀常任理事を推薦することが承認された。

宮崎刑務所視察委員会委員候補者の推薦について

→任期満了に伴う視察委員会委員の推薦依頼で、引き続き古賀常任理事を推薦することが承認された。

## 4. 記紀編さん 1300 年記念事業「神話のふるさとみやざき温故知新ものがたり」推進協議会(仮称)の設立について

平成 24 年に古事記編さん 1300 年、平成 32 年に日本書紀編さん 1300 年という歴史の節目を迎えるにあたり企画された記念事業で、推進協議会の設立趣旨に賛同し、稲倉会長を委員とすることが承認された。

## 5. 3/10(土)「日医」JMA T に関する災害医療研修会」の開催について

避難所等の支援活動に必要な公衆衛生や災害における倫理を含み、各地域医師会のモデルケースとなる災害医療研修会で、都道府県医師会災害医療担当理事連絡協議会も兼ねることから、担当の古賀常任理事が出席することが承認された。

## 6. 平成 24 年度宮崎県医師会医学会の開催について

例年 9 月に宮崎県医師会医学会を開催しているが、平成 24 年度は本県が九州医師会連合会の担当県となることから、単独では行わず、11 月 24 日(土)～25 日(日)に開催される九州医師会医学会をもって宮崎県医師会医学会を兼ねることが提案され承認された。

## 7. 2・3 月の行事予定について

2 月の追加事項並びに 3 月の行事の確認が行われた。

(報告事項)

## 1. 週間報告について

## 2. 1/28(土)佐賀)九医連常任委員会について

## 3. 1/31(火)宮大)宮大経営協議会・学長選考会議について

## 4. 1/25(火)宮崎労働局)労災診療指導委員会について

## 5. 1/25(火)九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

## 6. 1/28(土)佐賀)九医連各種協議会について

## 7. 1/27(金)日医)日医地域医療対策委員会について

## 8. 1/25(火)県医)県訪問看護推進協議会医療材料部会について

## 9. 1/25(火)県医)広報委員会について

## 10. 1/27(金)日医)「2020.30」推進懇話会について

## 11. その他

公益法人化準備委員会について

# 県 医 の 動 き

( 2 月 )

1	日本プライマリ・ケア連合学会九州支部講演会		社会保険医療担当者(医科)の個別指導(石川常任理事)
2	社会保険医療担当者(医科)の個別指導 (立元常任理事)		県防災会議(古賀常任理事)
3	全国メディカルコントロール協議会連絡会(静岡) (古賀常任理事)	16	交通死亡事故多発に伴う緊急対策会議(会長)
4	県外科医会冬期講演会(大塚常任理事他)		日医広報委員会(日医Ⅱ荒木常任理事)
6	精度管理調査実行委員会(事務局)		県国民保護協議会(古賀常任理事)
4	勤務医部会理事会(上田理事他)		県歯科保健推進協議会乳幼児期・学童期部会 (佐藤常任理事)
	県内医師会病院連絡協議会(会長)		学校医部会学校検診委員会(富田副会長他)
	勤務医部会講演会(上田理事他)	17	県訪問看護推進協議会医療材料部会(石川常任理事)
	県医在宅医療連絡協議会(石川常任理事)		横倉義武先生日医会長選挙出馬表明記者会見 (東京Ⅱ会長)
6	介護保険主治医研修会(会長他)		女性医師支援事業連絡協議会(日医Ⅱ荒木常任理事)
7	県ドクターヘリ運航調整委員会(古賀常任理事)		医療安全対策セミナー(会長他)
	県薬事審議会(河野副会長)	18	日医学校保健講習会(日医Ⅱ佐藤常任理事)
	治験審査委員会(富田副会長他)		九州各県内科医会会長会議(福岡Ⅱ事務局)
	第2回常任理事会(会長他)		県医スポーツドクター連盟総会・スポーツ医学 セミナー(河野副会長他)
8	支払基金幹事会(会長)		九州地区医師国保組合連合会全体協議会(福岡) (秦理事長他)
	医師国保組合役員会(秦理事長他)	19	日医母子保健講習会(日医Ⅱ佐藤常任理事他)
9	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事 会(石川常任理事)	20	県健康づくり協会胃がん検診車贈呈式(会長)
	看護師等の「雇用の質」の向上のための取組に関 する企画委員会		県歯科保健推進協議会成人期部会(荒木常任理事)
	県警察医会協議会(大塚常任理事)		県歯科保健推進協議会高齢期・障がい児者部会 (石川常任理事)
	全国有診宮崎大会小委員会(河野副会長)		広報委員会(荒木常任理事他)
	県産婦人科医会常任理事会(濱田常任理事)		医師国保組合理事会(秦理事長他)
10	産業医研修会	21	県歯科保健推進協議会(荒木常任理事)
11~12	日医医療情報システム協議会(日医Ⅱ会長他)		記紀編さん1300年記念事業推進協議会設立総会 (会長)
12	日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・ 講演会(大分Ⅱ金丸理事)		医協運営委員会(会長他)
	日医医療秘書認定試験		第2回常任理事会(会長他)
13	特定健康診査等従事者研修会(会長他)	22	日医裁定委員会(日医Ⅱ秦顧問)
	広報委員会(富田副会長他)	23	社会保険医療担当者(医科)の個別指導(立元常任理事)
14	地方公務員災害補償基金県支部審査会 (河野副会長)		日医認定産業医制度関係小委員会(大塚常任理事他)
	医協打合会(立元常任理事)		救急搬送傷病者の受入れに係る大学との協議 (富田副会長他)
	第15回全理事会(会長他)	24	都道府県医師会事務局長連絡会(日医Ⅱ事務局)
15	全体課長会(事務局)		日医医療秘書認定試験委員会(日医Ⅱ富田副会長)
	県要保護児童対策地域協議会(事務局)		九州地方社会保険医療協議会宮崎部会(河野副会長)
	日医シンポジウム「会員の倫理・資質向上をめざ して」(日医Ⅱ立元常任理事)	25	創立123周年記念医学会(会長他)
	産業医研修会	26	研修病院説明会レジナビフェア(福岡Ⅱ古賀常任理事)
	日医乳幼児保健検討委員会(日医Ⅱ佐藤常任理事)	27	県内科医会理事会
	県周産期医療協議会(濱田常任理事)	28	第16回全理事会(会長他)
			次期郡市医師会長協議会(会長他)
			県医臨時代議員会(会長他)
		29	労災診療指導委員会(河野副会長他)
			日医医療情報システム協議会運営委員会(東京) (会長他)

## 追 悼 の こ と ば

都城市北諸県郡医師会

い ずみ よし とみ  
出 水 善 臣 先生

(昭和 18 年 7 月 2 日生 69 歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き出水善臣先生のご葬儀が執り行われるにあたり、都城市北諸県郡医師会を代表いたしまして、謹んで先生のご霊前に哀悼の意を表し、うやうやしくお別れの言葉を申し上げます。

先生は数年来、透析治療を続けながら地域医療一筋に今まで頑張ってこられました。

先生は、昨年 11 月ごろから足に痛みがあり、年末には、小林市立病院にご入院、療養に専念されておられました。亡くなられる 3 日前ぐらいから、ご容態が急変され、医療スタッフの懸命な治療や奥様やご家族の手厚い看護にもかかわらず、去る 1 月 7 日の午前 3 時 23 分に、先生は帰らぬ人となりました。

先生の突然の訃報を受け、私は驚きと悲しみで言葉を失い、ただ愕然とするばかりでした。先生急逝の知らせは、程無く全会員に伝えられ、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。ましてや、最愛なるご主人様を亡くされた奥様のお悲しみは察するに余りあり、ご遺族の皆様方のご悲嘆も、如何ばかりかと心中をお察し申し上げます。私ども医師会員一同、心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和 18 年 7 月 2 日、4 人兄弟の長男として、地元都城市高城町にお生まれになりました。長じて医学の道を志し、昭和 45 年 3 月に大阪医科大学をご卒業され、医師としてのス

タートをきられました。同年 5 月から、南大阪病院に勤務され研鑽をつまれました。

お父様が急逝されてから 5 年後の昭和 49 年 1 月に、ご実家である出水医院に帰られ、お父様の後を継がれておられます。体調を崩される今日まで、38 年の永きにわたり地域住民の医療、保健、福祉の向上にご尽力されてこられました。特に、へき地医療にも力を注がれ、四家診療所で、昭和 63 年から現在まで、24 年もの永きにわたり診療を行い、へき地医療に多大な貢献をしてこられました。このようにへき地医療に理解があった先生だけに私ども医師会にとってもそうですが、地域にとっても、なくてはならない先生を失うことになり、大変残念でなりません。

先生は、私ども医師会活動におきましても、多忙な診療の傍ら、都城健康サービスセンターの学童検診委員を平成 2 年から 2 年間務めておられます。また、都城市立有水小学校、有水中学校の学校医を昭和 50 年から現在までの 37 年にわたり、児童生徒の保健衛生並びに健康管理に精力的に取り組まれました。これらのご功績に対し、昭和 58 年、平成 8 年、平成 17 年に学校保健功労として、北諸県郡学校保健会長表彰を、受賞されておられます。

診療を離れると先生は、医院の裏の畑で野菜作りなど家庭菜園を楽しんでいたそうです。

花もこよなく愛され、花の苗を丹精こめて育て、医院の花壇の手入れにも余念がなかったと伺っております。

また、ゴルフも楽しまれ、若い頃は、よく友達や会員の先生方と行かれたそうです。腕前はシングルに近かったとのこと。旅行にもよく行かれ、最近ではご家族で松山の道後温泉に行かれたとお聞きしております。

これからは、先生、どうか遥か浄土よりご家

庭の安泰とご繁栄，医師会の発展を末永く見守りください。

先生は，既に幽明境を異にされたとはいえ，先生がこれまで，地域医療の発展にご尽力された数々のご功績を，私共医師会員は，決して忘れることなく，先生に学び先生の偉業を継いで会員一丸となり，地域住民の医療，保健，福祉

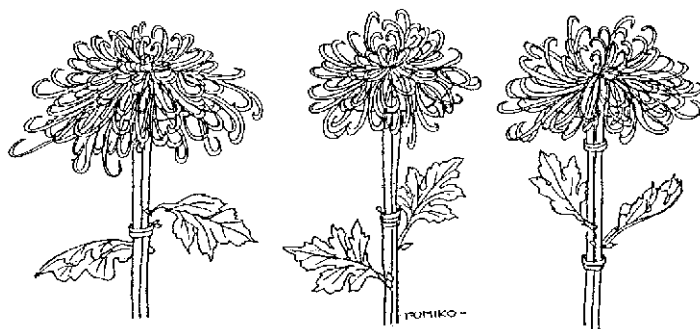
の発展に努力することをお誓い申し上げます。

最後に，先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます，お別れの言葉と致します。

平成 24年 1 月 9 日

都城市北諸県郡医師会

会長 夏 田 康 則



## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 24年 2 月 16日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1 . 求職者登録数 4 人

1 ) 男性医師求職登録数 4 人 ( 人 )

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	4	1	3

2 ) 女性医師求職登録数 0 人

2 . 斡旋成立件数 40人

1 ) 男性医師 29人 2 ) 女性医師 11人

3 . 求人登録 90件 323人 ( 人 )

募 集 診 療 科 目	求 人 数	常 勤	非 常 勤
内 科	95	68	27
外 科	31	25	6
整 形 外 科	23	19	4
精 神 科	21	17	4
循 環 器 科	16	16	—
脳 神 経 外 科	15	11	4
消 化 器 内 科	12	12	—
麻 酔 科	11	7	4
眼 科	10	8	2
放 射 線 科	9	8	1
小 児 科	6	5	1
呼 吸 器 内 科	5	5	—
リハビリテーション科	4	2	2
血 液 内 科	3	3	—
神 経 内 科	6	6	—
救 命 救 急 科	3	3	—
健 診	4	2	2
産 婦 人 科	2	2	—
泌 尿 器 科	1	1	—
検 診	2	—	2
皮 膚 科	3	3	—
人 工 透 析	2	2	—
耳 鼻 咽 喉 科	2	2	—
そ の 他	37	34	3
合 計	323	261	62

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
150005	医 ) っか会ピア・メンタル ささき病院	宮 崎 市	精	1	非常勤
160011	赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	2	非常勤
160013	医 ) 三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳 , 整 , 放 , 麻 , 内	8	常勤・非常勤
160017	医 ) プレストピア プレストピアなんば病院	宮 崎 市	乳腺 , 内	3	常勤
160020	財 ) 弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精 , 内	2	常勤
160031	医 ) 同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼 , 神内 , 眼 , 耳 , 総診 , 呼外 , 循 臨病	9	常勤
160033	医 ) 如月会 若草病院	宮 崎 市	内 精	3	非常勤
170040	医 ) いなほ会 日高医院	宮 崎 市	内	1	非常勤
170046	医 ) 社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	内 , 消内 , 内 泌 糖内 , 呼 , 放 , リウマチ	10	常勤・非常勤
170048	医 ) 慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内 眼	2	常勤
170052	医 ) 春光会	宮 崎 市	外 , 内	3	常勤
180061	医 ) あいクリニック	宮 崎 市	精	1	非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内 , 神内 , 整	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内	3	常勤
190089	医 ) 社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳 , 内 麻	4	常勤・非常勤
190094	医 ) 耕和会 迫田病院	宮 崎 市	整 , 内 , 外	7	常勤・非常勤
190095	医 ) 慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	2	常勤・非常勤
190096	医 ) 晴緑会 宮崎医療センター病院	宮 崎 市	消化 外 総内 麻 放 精 整 , 循	13	常勤・非常勤
200104	医 ) 社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内 外 救急 , 化療 , リハ	6	常勤
200105	医 ) 誠友会 南部病院	宮 崎 市	内 外 放	3	常勤
210110	医 ) 幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮 崎 市	内 , リハ	5	常勤・非常勤
220121	医 ) 社団 星井眼科医院	宮 崎 市	眼	1	常勤
220123	医 ) 仁和会 介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
220125	医 ) 仁和会 竹内病院	宮 崎 市	外 , 内	3	常勤
220126	八代医院	宮 崎 市	内	1	非常勤
230128	医 ) 真愛会 高宮病院	宮 崎 市	内	1	常勤
230132	医 ) 康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医 ) 慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230136	社会保険 宮崎江南病院	宮 崎 市	健診	1	非常勤
160008	医 ) 正立会 黒松病院	都 城 市	内 泌	2	常勤
160010	特医 ) 敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内 老内	2	常勤
160018	医 ) 宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内 救急 , 整 脳 外 総合	8	常勤
170042	医 ) 豊栄会 豊栄クリニック	都 城 市	内 老内 精	3	常勤
170056	医 ) 社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都 城 市	循内 脳外 呼 神内	5	常勤
170057	医 ) 清陵会 隅病院	都 城 市	内 外 整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都 城 市	消内 血内 循 内 脳 産婦 , 耳鼻	9	常勤
180069	社 ) 八日会 大悟病院	三 股 町	精 , 内	2	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
180081	医 )恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内 呼	4	常勤
190093	社 )八日会 藤元早鈴病院検診センター	都 城 市	内	2	常勤・非常勤
210108	特医 )敏和会 みまた病院	三 股 町	内 消内 循皮整 婦小 , 呼 放	10	常勤
210113	医 )邦楽会 河村医院	都 城 市	内	1	常勤
210114	社 )八日会 藤元病院	都 城 市	精	2	常勤
230127	医 )倫生会 三州病院	都 城 市	外 内 麻	9	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤
230135	医 )廣師会 信愛医院	都 城 市	内	1	常勤
230137	医 )宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
160012	医 )伸和会 共立病院	延 岡 市	外 整外 皮 放 内 肝外	6	常勤
160021	医 )建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	2	常勤
160034	特医 )健寿会 黒木病院	延 岡 市	外 消内 緩ケア	4	常勤
160036	医 )久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内 外麻 精 神内 脳神経 老施 心内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医 )育生会 井上病院	延 岡 市	産婦 内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内 小 外 整	8	常勤・非常勤
210112	医 )嘉祥会 岡村病院	延 岡 市	内	3	常勤・非常勤
160039	医 )誠和会 和田病院	日 向 市	外 内 整 透	7	常勤
230130	医 )フボール向洋	日 向 市	内	1	常勤
230131	医 )向洋会 協和病院	日 向 市	内	1	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内 麻	4	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内 放 外 小	4	常勤
160023	医 )宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整 内 心内 眼 健診 循 脳	16	常勤・非常勤
170058	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼 循 消内 外	8	常勤
180077	医 )聖山会 川南病院	川 南 町	眼 麻 脳	10	常勤・非常勤
160024	医 )隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内 外 整	6	常勤・非常勤
150002	医 )慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	1	常勤
150003	医 )同仁会 谷口病院	日 南 市	精	2	常勤
160022	医 )愛鍼会 山元病院	日 南 市	内 消内 神内	3	常勤
160037	医 )十善会 県南病院	串 間 市	精 内	2	常勤・非常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内 神内 整 外	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	腎内	1	常勤
220124	医 )月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
230129	医 )秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医 )相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170043	医 )和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	1	常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	内 循 呼 血内 健診 放 小	11	常勤
180076	医 )友愛会 園田病院	小 林 市	外 内 整	4	常勤
190090	特医 )浩然会 内村病院	小 林 市	精	2	常勤
190091	医 )友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整 内	4	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	五ヶ瀬町	整	1	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内 神内 循内	3	常勤・非常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内 整	2	非常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 24 年 2 月 16 日現在

1. 譲渡物件	宮崎市阿波ヶ原町前田 2633 番, 2634 番   土地のみ: 593.57 坪 (2022.17m²)
2. 賃貸物件	宮崎市曾師町 209-3 (旧 田川内科医院跡地)   建物: 鉄筋コンクリート造 2 階建   1 階 183.35m², 2 階 166.69m²   駐車場: 10 台分

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前 9 時から 12 時及び 13 時から 17 時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

### ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 (宮崎県医師協同組合)

0985-23-9100 (代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyou@m-iyazakim ed.or.jp

あなたできますか？ (解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
d	c	c	b, d	e	b, d	b, d, e	c	a	c

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 24年 2 月 28日現在

3				月			
1	木	13 30	社会保険医療担当者(医科)の個別指導	12	月	16 00	県准看護師試験委員会
		14 00	(日医)都道府県医師会生涯教育担当			19 00	自殺対策うつ病研修会
		16 00	理事連絡協議会	13	火	19 00	各都市医師会社会保険担当理事連絡協議会
		19 00	学校運動器検診実施説明会			19 00	第 28回常任理事会
2	金	10 00	(日医)日医臨床検査精度管理報告会	14	水	18 30	県母子保健運営協議会
		14 00	産業医研修会			19 00	自賠委員会
		19 00	医師国保組合通常組合同			19 30	損害保険医療協議会
3	土	9 00	県災害医療従事者研修会(事務局)	15	木	14 00	産業医研修会
		15 00	地域リハビリテーション研修会			14 00	宮大医学部医の倫理委員会
		15 00	産業医研修会(実地)	16	金	19 00	県外科医会全理事会
		15 25	県産婦人科病医院従事者研修会			13 30	県国民保護法共同実動訓練説明会
4	日	9 00	県産婦人科病医院従事者研修会	17	土	19 00	公衆衛生・感染症委員会
						19 15	広報委員会
5	月	14 00	(日医)都道府県医師会社会保険担当	18	日	9 00	ICLS研修会
		19 00	理事連絡協議会			16 00	県内科医会総会並びに会員発表会・特別講演会
6	火	14 00	県内科医会評議員会	19	月	8 30	ACLS研修会
		14 00	運営協議会			19 00	都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会復講
		16 00	全国国保組合協会九州支部総会			19 00	県臨床研修運営協議会小委員会
		18 00	治験審査委員会				
7	水	18 00	第 2 回常任理事会	20	火	(春分の日)	
		14 00	(日医)都道府県医師会介護保険担当			14 00	県民健康セミナー
8	木	16 00	理事連絡協議会	21	水	15 30	病院部会医療法人部会合同医療従事者研修会
		16 00	支払基金幹事会			9 10	全体課長会(事務局)
9	金	19 00	医学会誌編集委員会	22	木	17 00	県健康づくり協会評議員会
		19 30	県産婦人科医会全理事会			17 00	県アイバンク協会理事会
						18 30	県産業保健連絡協議会等
10	土	13 00	全国国保組合協会通常総会	23	金		
		18 30	県民健康セミナー				
		19 00	自殺対策うつ病研修会	24	土	14 00	県医臨床検査精度管理調査勉強会
		10 30	(日医)JMATに関する災害医療研修会	25	日		
		11 30	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会・総会・研修会				
		13 00	こころの健康フォーラム in 宮崎	26	月	14 00	県地域医療支援機構代表者会議
		14 30	産業医研修会(実地)			19 00	広報委員会
		15 00	九医連常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議	27	火	13 10	県社会福祉審議会
		15 00	九州医師協同組合連合会購買・保険部会他			18 00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
11	日	16 00	九医連常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会	28	水	18 15	医協運営委員会
		17 40	九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議			19 00	第 1 回全理事会
		18 00	各都市内科医会長会	29	木	13 30	県腎臓バンク理事会
						15 00	労災診療指導委員会
12	月			30	金		
13	火			31	土	19 00	医師国保理事会
14	水					15 30	全医秘協常任委員会
						16 00	全医秘協運営委員会
						18 00	九州ブロック日医代議員連絡会議

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 24 年 2 月 28 日現在

4 月			
1	日	9 00 (日医)九州ブロック日医代議員連絡 会議	15 日
		9 30 (日医)日医定例代議員会	16 月
2	月	9 00 (日医)九州ブロック日医代議員連絡 会議	17 火 19 00 第 3 回常任理事会
		9 30 (日医)日医定例代議員会・総会	18 水 9 10 全体課長会(事務局)
3	火	19 00 第 1 回常任理事会	19 木 19 00 県医産業医部会理事会 19 30 県産婦人科医会・県産科婦人科 学会全理事会
4	水		
5	木	19 00 県警察医会協議会	20 金
6	金		21 土 15 00 県産婦人科医会春期定時総会
7	土	16 00 九医連常任委員会	22 日
8	日		23 月
9	月		24 火 19 00 第 1 回全理事会
10	火	18 00 治験審査委員会	25 水
		19 00 第 2 回常任理事会	26 木
11	水	16 00 支払基金幹事会	27 金
12	木		28 土
13	金		29 日 (昭和の日)
14	土		30 月 (振替休日)

都合により、変更になることがあります。

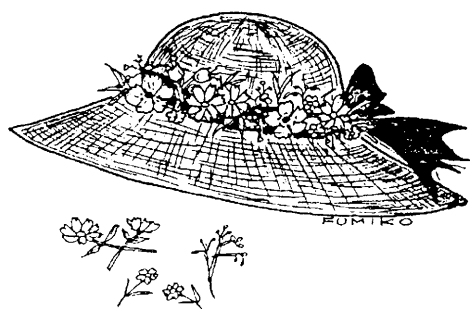
## 2月のベストセラー

1	共喰い	田 中 慎 弥	集 英 社
2	大往生したけりゃ医療とかかわるな 「自然死」のすすめ	中 村 仁 一	幻 冬 舎
3	プロ野球重大事件 誰も知らない“あの真相”	野 村 克 也	角 川 書 店
4	ギャル曽根流 大食いHAPPYダイエット	ギャル 曽 根	マガジンハウス
5	胸いっぱいのお愛を	広 谷 鏡 子	徳 間 書 店
6	なぜ日本は破綻寸前なのに円高なのか	藤 巻 健 史	幻 冬 舎
7	50歳を超えても 30代に見える生き方 「人生 100年計画」の行程表	南 雲 吉 則	講 談 社
8	聞く力 心をひらく 35のヒント	阿 川 佐 和 子	文 藝 春 秋
9	寝るだけ！骨盤枕ダイエット	福 辻 鋭 記	学研マーケティング
10	100円のコーラを 1000円で売る方法	永 井 孝 尚	中 経 出 版

宮脇書店本店調べ 提供 宮崎店（宮崎市青葉町）☎（0985）23-7077

## お知らせ

## カット、イラストの募集



日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。是非、作品をお寄せください。  
なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

## 原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会  
〒880-0023  
宮崎市和知川原1丁目101  
genko@m-iyazakim-ed.or.jp

医学書院

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位・カリキュラムコード（CC）。当日，参加証を交付。  
 がん検診；各種がん検診登録・指定・更新による研修会。波線；専門研修会以外の産業医研修会。  
 アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会2単位) (2単位) (CC 5,6,69,70)	3月2日(金) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(4)メンタルヘルス対策 復職過程における問題点 西都病院 植田 勇人	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
延岡医学会学術講 演会 がん検診(胃) (1単位) (CC 8,15)	3月2日(金) 18 45~ 20 00 ホテルメリージュ 延岡	胃癌治療の変遷 今村病院外科・副院長 帆北 修一	共催 延岡医学会 中外製薬(株) ☎ 0985-20-8118 後援 延岡内科医会
宮崎県小児科医会 学術講演会 (1単位) (CC 11)	3月2日(金) 19 00~ 20 10 ニューウェルシティ 宮崎	水痘ワクチンと最近の予防接種の話題 江南厚生病院こども医療センター長 尾崎 隆男	共催 宮崎県小児科医会 田辺三菱製薬(株) ☎ 0985-32-9205
第 22 回 日向 地区 急性期医療連携検 討会 (2単位) (CC 10,13)	3月2日(金) 19 00~ 21 00 日向市東臼杵郡医師 会館	宮崎ドクターヘリ - 始動に向けて - 宮崎大学医学部附属病院救急部助教 金丸 勝弘 症例検討会	共催 日向市東臼杵郡内科医会 日向地区急性期医療 連携検討会 ファイザー(株) 後援 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222
第 6 回 宮崎血管治 療懇話会 (2単位) (CC 62,63,75,76)	3月2日(金) 19 00~ 21 00 ホテルJALシティ 宮崎	広範壊疽を伴う重症虚血肢に対する外科 治療 旭川医科大学第 1 外科教授 笹嶋 唯博	共催 宮崎血管治療懇話会 大正富山医薬品(株) ☎ 092-451-7884

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 45 回都城心臓血管懇話会 ( 1.5 単位 ) ( CC 20,73,82 )	3 月 2 日(金) 19 00~ 20 45 ホテル中山荘	睡眠時無呼吸と循環器疾患について 九州大学病院睡眠時無呼吸 センター長・特任教授 安藤 真一	主催 都城心臓血管懇話会 ☎ 0986-22-0711 共催 武田薬品工業(株)
宮崎県東洋医学会 学術講演会 ( 1.5 単位 ) ( CC 83 )	3 月 2 日(金) 19 15~ 21 00 県医師会館	ストレスと漢方 九州大学心身医学准教授 岡 孝和	共催 宮崎県東洋医学会 (株)ソムラ ☎ 0985-28-9663
第 46 回宮崎県スポーツ学会 ( 1 単位 ) ( CC 5 ,61 )	3 月 3 日(土) 15 00~ 19 00 宮日会館 1,000円	スポーツ外傷としての半月板損傷の治療 善衆会病院理事長・病院長 木村 雅史	共催 宮崎県スポーツ学会 ファイザー(株) ( 連絡先 ) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986
第 11 回地域リハビリテーション研修会 ( 2 単位 ) ( CC 10,11,12,80 )	3 月 3 日(土) 15 00~ 17 00 県医師会館	JM A T 宮崎宮城県七ヶ浜でのリハビリ活動報告 - 宮崎で災害が起きた時のために - 医師の立場から 宮崎善仁会病院副院長 廣兼 民徳 理学療法士の立場から 同病院理学療法士 財津 由忠 作業療法士の立場から 潤和会記念病院作業療法士 中田 富久	主催 宮崎県寝たきり予防 対策支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎市郡外科医会 3 月例会 ( 1 単位 ) ( CC 1 ,5 )	3 月 5 日(月) 19 10~ 20 10 宮崎観光ホテル	東日本大震災の宮崎県災害医療チームに参加して - 亜急性期の災害医療は日常診療と同じです - 宮崎善仁会病院副院長・ 救急総合診療部長 廣兼 民徳	主催 宮崎市郡外科医会 ☎ 0985-53-3434

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 28 回国立病院機構宮崎病院医療セミナー ( 1 単位 ) ( C C 62,77 )	3 月 6 日(火) 19 00~ 20 00 プライダルホール 竹乃屋	健康と長寿は運動から！ - ロコモティブシンドロームって知っていますか - ロコモ予防を地域から 宮崎大学医学部整形外科学教授 帖佐 悦男	主催 国立病院機構宮崎病院 後援 児湯医師会 ☎ 0983-22-1641 児湯内科医会
宮崎市郡内科医会 学術講演会 ( 1.5 単位 ) ( C C 9 ,11,76 )	3 月 6 日(火) 19 30~ 21 00 宮崎観光ホテル	糖尿病治療最前線 - 糖尿病治療のパラダイムシフト - 大阪府済生会中津病院 糖尿病内分泌内科部長 西村 治男	共催 宮崎市郡内科医会 ☎ 0985-53-3434 サノフィ・アベン ティス(株)
第 65 回江南医療連携の会・症例検討会 ( 1.5 単位 ) ( C C 42,53,84 )	3 月 8 日(木) 19 00~ 20 30 社会保険宮崎江南 病院	腎生検の適応について及び昨年腎生検を行った 5 症例の報告 宮崎江南病院腎疾患・ 透析主任部長 山田 和弘 2011 年肺 乳腺症例について 同病院副院長・外科 白尾 一定 本年度に経験したちょっとめずらしい？ 下部内視鏡症例 同病院放射線科部長 伊藤 泰教	主催 江南医療連携の会 ( 連絡先 ) 社会保険宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575
第 10 回南那珂感染 対策セミナー ( 1 単位 ) ( C C 8 ,11 )	3 月 9 日(金) 18 30~ 19 30 県立日南病院	潤和会記念病院での感染予防活動 潤和会記念病院看護部主任 須志原 陽子	共催 県立日南病院医療連携科 大日本住友製薬(株) ☎ 0985-29-5855
延岡医学会学術講演会 ( 1.5 単位 ) ( C C 18,73,76 )	3 月 9 日(金) 18 50~ 20 30 ホテルメリージュ 延岡	高血圧治療を再考する 自治医科大学循環器内科・ 宮崎大学医学部地域医療学助教 矢野 裕一郎 抗菌薬の適正使用に必要な感染症の知識 宮崎大学医学部内科学講座 免疫感染病態学講師 長友 安弘	共催 延岡医学会 M S D (株) ☎ 080-5479-1210 後援 延岡内科医会

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
平成 23 年度宮崎県 医師会自殺対策うつ 病研修会 都城 会場 ( 2 単位 ) ( CC 13,14,69,70 )	3 月 9 日(金) 19 00~ 21 10 都城市北諸県郡医師 会館	うつ病の特徴 ,うつ病患者の実態 ,うつ病 と自殺との関係 ,うつ病を疑う症状 ,うつ 病のスクリーニング方法他 藤元病院長 竹内 康三 地域において利用可能な制度や社会資源 について他 都城新生病院精神保健福祉士 瓦田 直久	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県
第 9 回宮崎 GERD 研究会 がん検診(胃) ( 2 単位 ) ( CC 1,2,50,52 )	3 月 9 日(金) 19 30~ 21 30 M R T m i c c 500 円	食道表在癌の診断と治療(仮) 佐久総合病院胃腸科部長 小山 恒男	共催 宮崎 GERD 研究会 アストラゼネカ(株) ☎ 0985-38-6111 第一三共(株) 後援 宮崎県医師会 宮崎県内科医会
平成 23 年度宮崎県 小児科医会総会・ 学術講演会 ( 2.5 単位 ) ( CC 11,57,79 )	3 月 11 日(日) 14 00~ 17 00 県医師会館	同時接種に対する小児科医の実態および 意識調査 たかやま小児科院長 高山 修二 小児外科疾患について 県立宮崎病院小児外科 村守 克己 気管支肺感染症について くろさきこどもクリニック院長 黒崎 知道	主催 宮崎県小児科医会 ☎ 0985-22-5118
平成 23 年度宮崎県 医師会自殺対策うつ 病研修会 宮崎 会場 ( 2 単位 ) ( CC 13,14,69,70 )	3 月 12 日(月) 19 00~ 21 10 県医師会館	うつ病の特徴 ,うつ病患者の実態 ,うつ病 と自殺との関係 ,うつ病を疑う症状 ,うつ 病のスクリーニング方法他 宮崎大学医学部精神医学助教 武田 龍一郎 地域において利用可能な制度や社会資源 について他 古賀総合病院精神保健福祉士 押川 奉史	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位) (2 単位) (CC 11,12,69,70)	3 月 15日(木) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(4)メンタルヘルス対策 メンタルヘルス - その気持ち変えませんか - 都城新生病院 前原 正法	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 (1.5単位) (CC 29,69,70)	3 月 15日(木) 19 00~ 20 45 都城ロイヤルホテル	アルツハイマー病新規治療メマンチンの 使用経験と期待 福岡大学医学部神経内科学助教 合馬 慎二 認知症の医学的理解 協和病院長 二宮 嘉正	主催 都城市北諸県郡医 師会内科医会 ☎ 0986-22-0711 共催 第一三共(株)
第 11回宮崎県北地 区消化器内視鏡講 演会 (1.5単位) (CC 1 ,13,50)	3 月 16日(金) 19 00~ 20 40 マリエールオークパ イン延岡	上部消化管出血に対する内視鏡的止血術 の実際 - 胃食道静脈瘤を中心に - 柳川病院長 於保 和彦	共催 延岡医学会 宮崎県北地区消化器 内視鏡懇談会 エーザイ(株) ☎ 0985-26-2676 後援 延岡内科医会
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 (2 単位) (CC 23,32,67,76)	3 月 16日(金) 19 00~ ガーデンベルズ小林	2 型糖尿病治療のパラダイムシフト - インクレチンが開いた新しい潮流 - 東京慈恵会医科大学糖尿病・代謝・ 内分泌内科教授 東條 克能	主催 西諸医師会 ☎ 0984-23-2113 西諸内科医会 共催 M SD (株)
宮崎県内科医会総 会並びに会員発表 会・特別講演会 (2 単位) (CC 1 ,13,15,77)	3 月 17日(土) 16 00~ 18 40 県医師会館	てんかん医療をつぶやく - ツイッターの光と影 - 東北大学てんかん学教授 中里 信和	共催 宮崎県内科医会 ☎ 0985-22-5118 大塚製薬(株)

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
西都市西児湯医師 会講演会 ( 2 単位 ) ( CC 5 , 23, 75, 82 )	3 月 1 日 ( 土 ) 16 00 ~ 18 00 プリムローズ西都	医師が見つけたお金も努力も要らないダ イエット 川村内科診療所所長 川村 昌嗣	主催 西都市西児湯医師会 ☎ 0983-43-1687 共催 西都市西児湯内科医会 武田薬品工業(株)
宮崎県医師会病院 部会・医療法人部 会合同医療従事者 研修会 ( 1.5 単位 ) ( CC 3 , 7 , 9 )	3 月 20 日 ( 火 ) 15 30 ~ 17 30 宮崎観光ホテル	平成 24 年度診療報酬改定について 全日本病院協会副会長 猪口 雄二	共催 宮崎県医師会病院部会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県医師会医療法 人部会
平成 23 年度宮崎県 肝炎対策事業宮崎 地区医療従事者向 け講座 ( 1 単位 ) ( CC 12, 73 )	3 月 21 日 ( 水 ) 19 00 ~ 20 00 宮崎観光ホテル	肝癌撲滅をめざして - 病診連携の重要性 - 久留米大学医学部消化器内科教授・ 消化器疾患情報教授 佐田 通夫	共催 宮崎県 宮崎県肝疾患診療連 携拠点病院 宮崎大学 医学部附属病院 ) 中外製薬(株) ( 連絡先 ) 宮崎大学医学部内科 学講座消化器血液学 ☎ 0985-85-9121
第 1 回宮崎心エコー 研究会 ( 1.5 単位 ) ( CC 1 , 2 , 9 )	3 月 22 日 ( 木 ) 18 45 ~ 20 30 宮崎市郡医師会病院 500 円	塞栓症の心エコー図 川崎医科大学循環器内科心血管画像 解析室・県立宮崎病院循環器科心エ コー図検査室 渡邊 望	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 第一三共(株)
学術講演会 - 腎臓 病の進展と予防 - ( 1.5 単位 ) ( CC 11, 73, 74 )	3 月 23 日 ( 金 ) 19 15 ~ 20 45 ホテル JAL シティ 宮崎	腎生理を考慮した Cardioresenal Protection 近畿大学医学部腎臓内科教授 有馬 秀二	共催 宮崎県内科医会 大日本住友製薬(株) ☎ 0985-29-5855

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
臨床医のための循環器疾患研究会 ( 1 単位 ) ( C C 73,80)	3 月 2日(火) 19 00~ 20 15 宮崎観光ホテル	慢性心不全の診断と治療 - 病院から在宅医療へ - 佐賀大学医学部循環器内科教授 野出 孝一	共催 臨床医のための循環器疾患研究会 宮崎県内科医会 トーアエイヨー(株) ☎ 080-5576-5209
第 10回宮崎皮膚疾患研究会 ( 1 単位 ) ( C C 9 ,26)	4 月 7 日(土) 18 45~ 20 00 宮崎観光ホテル	アトピー性皮膚炎と自然免疫の接点 愛媛大学感覚皮膚医学教授 佐山 浩二	共催 日本皮膚科学会宮崎地方会 宮崎県皮膚科医会 協和発酵キリン(株) ☎ 0985-22-8801
宮崎県内科医会学術講演会 ( 1.5単位 ) ( C C 73,76,82)	4 月 10日(火) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	良質な血糖コントロールを目指した糖尿病治療戦略 - 当科でのビルダグリプチン使用経験 , およびCGM データの解析から - 産業医科大学医学部第一内科学講師 岡田 洋右	共催 宮崎県内科医会 ノバルティスファーマ(株) ☎ 0985-28-6228
第 20回ひむか運動器セミナー ( 1 単位 ) ( C C 73,77)	4 月 13日(金) 19 00~ 20 15 M R T m i c c 500円	新しいガイドラインにしたがった骨粗鬆症治療 - 骨折予防の新たな戦略 - 鳥取大学医学部保健学教授 萩野 浩	共催 ひむか運動器セミナー 中外製薬(株) ( 連絡先 ) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986
宮崎県精神科診療所協会学術講演会 ( 1 単位 ) ( C C 69)	4 月 14日(土) 18 50~ 20 00 宮崎観光ホテル	不安と向き合う - 森田療法の世界 - 東京慈恵会医科大学精神医学 主任教授 中山 和彦	共催 宮崎県精神科診療所協会 吉富薬品(株) ( 連絡先 ) ハートピア細見クリニック ☎ 0985-35-1100

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県内科医会学 術講演会 ( 1.5 単位 ) ( C C 73,76,82 )	4 月 1 日 ( 火 ) 19 00 ~ 20 45 宮崎観光ホテル	2 型糖尿病のインスリン療法は今 ? 順天堂大学スポーツロジ センター長 河盛 隆造	共催 宮崎県内科医会 サノフィ・アベン ティス ( 株 ) ☎ 080-6817-4968
第 31 回宮崎県臨床 整形外科医会学術 講演会 ( 2 単位 ) ( C C 1,5,57,61 )	4 月 21 日 ( 土 ) 16 20 ~ 18 20 M R T m i c c	スポーツドクターの役割とメディカルサ ポート 宮崎大学医学部整形外科学助教 田島 卓也 手と手関節のスポーツ障害 麻生整形外科クリニック院長 麻生 邦一	共催 宮崎県臨床整形外科医会 宮崎県整形外科医会 第一三共 ( 株 ) ☎ 0985-23-5710
第 36 回宮崎大腸肛 門疾患研究会 がん検診 ( 大腸 ) ( 1.5 単位 ) ( C C 54,55,57 )	5 月 11 日 ( 金 ) 19 00 ~ 20 30 県医師会館	下部消化管疾患に対する外科的治療 - 炎症性腸疾患から大腸がんまで - 県立宮崎病院外科医長 池田 拓人	共催 宮崎大腸肛門疾患研究会 武田薬品工業 ( 株 ) ☎ 0985-24-6763 天藤製薬 ( 株 )

## 日本医師会生涯教育カリキュラム ( 2009 )

カリキュラムコード ( 略称 C C )

1 専門職としての使命感	29 認知能の障害	57 外傷
2 継続的な学習と臨床能力の保持	30 頭痛	58 褥瘡
3 公平・公正な医療	31 めまい	59 背部痛
4 医療倫理	32 意識障害	60 腰痛
5 医師 - 患者関係とコミュニケーション	33 失神	61 関節痛
6 心理社会的アプローチ	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療制度と法律	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 医療の質と安全	36 視力障害, 視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害 ( 尿失禁・排尿困難 )
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防活動	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 保健活動	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 地域医療	41 嘔声	69 不安
14 医療と福祉の連携	42 胸痛	70 気分の障害 ( うつ )
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便秘異常 ( 下痢・便秘 )	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療 ( 漢方医療を含む )
28 発熱	56 熱傷	84 その他

## 医師国保組合だより

## 国民健康保険法第 116条にかかる届出のお願い

## 修学のため自宅を離れて住む方は届出が必要です

## § 修学中の学生の取扱いについて §

修学のため親元を離れ、学校所在地に住所を移す例は非常に多くみられますが、そのような学生は一般的に所得がなく、保険料負担能力を欠くため、学校所在地域保険者の被保険者とする、財政的に影響を与えることになります。

また、医療費の負担は本来親元の世帯の負担となるべきものであることから、国民健康保険法の適用については、このような場合は親元に住所があり、親元の世帯に属するものとみなしています。

第 116条の規定はこのような修学中の被保険者の特例規定です。

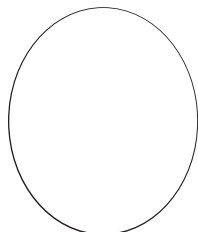
## 手続きについて

こ ん な 時	提 出 書 類
初めて申請する時 進学した時 (例：高校→大学) 学校を変った時 (例：編入学、予備校→予備校)	「第 116条該当・非該当届」  「在学証明書」
在学中の場合 (例：進級、留年)	「在学証明書」

## 註 記

- 1) 在学証明書は、在学中の間は、毎年 4 月 1 日以降発行のものをご提出ください。  
新入学の場合は、入学式終了直後から在学証明書が発行されます。  
(入寮許可証や学生証等は認められません)
- 2) 卒業等で第 116条に該当しなくなった場合は、「非該当届」を提出ください。
- 3) 本届出に関する書類は、3 月末、各組合員宛発送予定です。

## 診療メモ

宮崎県の地域医療を充実し、  
発展させるために必要なことはなにか宮崎大学医学部地域医療学講座教授 ^{なが}長 ^た田 ^{なお}直 ^と人

宮崎県の医師数の現状と宮崎大学医学部の地域枠・地域特別枠の学生数の推移を簡単にご説明し、地域医療学講座が何をすべきかを提示したいと思います。

若い医師の減少、医師の高齢化と宮崎市以外の総医師数当たり医師数の減少

宮崎県在住の 20 歳代医師数は、平成 10 年度の 258 名に比べて、平成 22 年度は 135 名と、ほぼ半減しています。総医師数に対する 20 歳代医師数の全国平均の割合が 9.2% に対して、宮崎県は 5.9% です。同様に 30 歳代は 696 名から 503 名に減少し、40 歳代は逆に 600 名から 736 名に増加し、若い医師の減少と医師の高齢化が顕著に進んでいます。

宮崎県の総医師数は平成 12 年の 2,440 名に比べて、平成 22 年は 2,653 名に増加していますが、7 つの医療圏における総医師数に対する医師数の割合をご覧ください(図 1 参照)。宮崎市を中心にした医療圏の占める構成比は、平成 10 年の 49.9% に比べて、平成 20 年では 52.8% に増加し、それ以外の地域では全て減少しています。宮崎市周辺に医師が集中していることが分かります。

地域枠と地域特別枠学生数の推移

地域枠とは、県内高校出身者(現役)の推薦枠で入学した学生です。

また地域特別枠とは、県内高校出身者(現役及び一浪者含む)で、宮崎県医師修学資金の貸与候補者としてふさわしい人として推薦入学をした学生です。地域特別枠の学生は、2 年間の初期研修後、貸与期間と同じ期間、各自治体病院等に勤務することにより、修学資金の返還が免除されます。

図 2 に示したように、年々着実に宮崎県出身の学生数は増加しています。

宮崎大学医学部生は、何を望んでいるのでしょうか。

県内に若い医師が少ないのは、初期研修医制

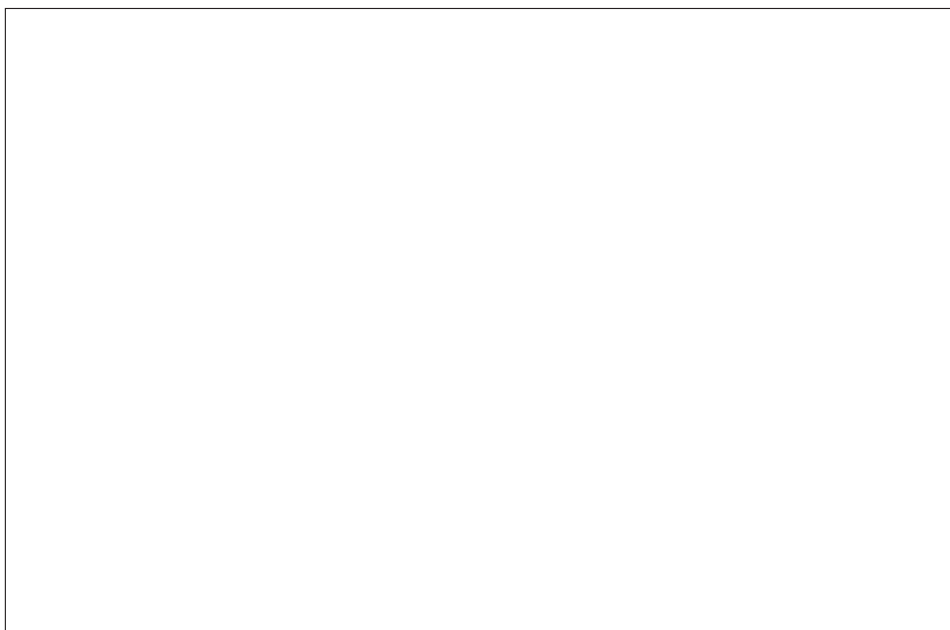


図 1 医師数 - 構成比 -

度の影響に加えて、宮崎県出身者が少ないためと分析され、上述のように平成 18 年度から地域枠の制度が導入されました。これにより宮崎県出身の学生は増えてきております。しかし、これだけで、宮崎県に残る研修医は増えるのでしょうか。

医学生自らによる意識調査(医学生 1 ～ 6 年生の 373 名が回答)によると、初期研修で望むことは、教育の体制が整っていること(292 名)、数多い症例があること(160 名)、尊敬する医師がいること(148 名)、救急医療(93 名)という回答でした。宮崎県で医療活動を行うとき、宮崎大学自らが救急に積極的に取り組むことを学生たちは期待しているのだと思います。地域医療に必要な総合的に診断・治療できる医師は、初期治療の習得に加えて、救急医療にも精通しなければならないでしょう。

では、当講座は何を提供すればいいのでしょうか。

2010 年に当講座を開講した時点で、宮崎県の救急医療を充実させることが宮崎大学出身研修医の要求に答える一つであると考えました。現在、当講座から救急部にドクターヘリを運航できる医師 1 名と協力できる医師 1 名を転属させ、彼らは現在 2012 年 4 月の救命救急センター開設に向けて奔走しています。

救命救急センターが本格的に稼働することで、宮崎大学出身の研修医が宮崎県内に数多く残ってくれることを願うものです。平成 24 年春、1 年目の新研修医 20 名と 2 年目の研修医 7 名が、救命救急センターでの研修を望んでいるようです。彼らの期待に我々は応えなければなりません。ドクターヘリを運航することで、地域を支

える医師を支援し、県全体の地域医療充実に繋がることを強く望んでいます。

さらに、地域枠・地域特別枠を含めた研修医に対して、必要なことは何でしょうか。

平成 24 年 4 月に地域枠の卒業生が初めて研修医になり、平成 26 年春には初期研修を修了します。地域枠を含めた卒業生は、臓器別診療科または地域医療を目指す人など様々な思いを持った医師の卵でしょう。

当講座は彼らに対し、地域で働く医師像を提示し、総合的な診療能力を養うための研修を行わなければならないと思います。今年は、研修医の受け皿となる地域の病院と協力し、後期研修に力を入れていきたいと考えています。地域病院の勤務医の方々と協力し、地域医療とは他業種によるチーム医療であることを研修医に理解してもらいます。認定医または専門医の取得、臨床研究などの幅広い医療も研修医に提供する必要があります。

また、若い研修医、地域専従の医師、看護師、救急救命士、さらに地元の住民団体が医療情報を交換できる医療情報ネットワークを構築したいと考えています。県内の地域医療充実のためには、県内全体の医療現状がわかり、協力し合える環境作りも必要と思います。

昨年 10 月に宮崎県地域医療支援機構が設立し、宮大附属病院内に地域総合医育成センターが設置されました。様々な機関と連携をとって地域医療に取り組んでいきたいと思っています。

地域医療の基盤である救急体制を点から線に充実させ、一方で、地域に根差した地域総合医の育成に取り組む所存です。これからも、よろしくお願い致します。

(単位 人, %)

区 分	H 17	H 18 (6 年生)	H 19 (5 年生)	H 20 (4 年生)	H 21 (3 年生)	H 22 (2 年生)	H 23 (1 年生)
入 学 者 総 数	100	101	100	100	106	110	110
本 県 出 身 者 計	16	32	29	26	34	34	45
一 般 入 試	16	21	20	16	18	26	21
地 域 枠	-	11	9	10	13	2	12
地域特別枠	-	-	-	-	3	6	12
本県出身者の割合	16.0	31.7	29.0	26.0	32.1	30.9	40.9

図 2 宮崎大学医学部における本県出身者の状況

(注) 地域枠(本県出身者)は平成 18 年度入学者から導入(定員 10 名)

地域特別枠(本県出身で修学資金を貸与)は平成 24 年度入学者から導入

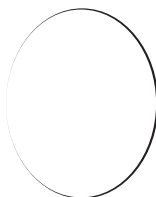
(定員 H 24 年 5 名, H 25 年～ 10 名)

## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ホームページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。

送付日	文 書 名
1 月 30 日	・ 結核・精神医療給付金の廃止について
2 月 1 日	・ 「ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針」の周知徹底について     ・ 特定 B 型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法施行規則の一部を改正する省令の施行について     ・ 性感染症に関する特定感染症予防指針の一部改正について     ・ 後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の改正について
2 月 2 日	・ 医療法人(診療所)の現状と課題に関するアンケート調査結果について
2 月 7 日	・ 母子健康手帳の任意記載事項様式の改正について
2 月 8 日	・ 「平成 22・23 年度日本医師会定款・諸規程改定検討委員会答申」の送付について     ・ 集団的個別指導における保険医療機関の類型区分の追加について     ・ 東北地方太平洋沖地震及び長野県北部の地震による被災者に係る一部負担金等の取扱いについて(その 12)(平成 24 年 3 月以降の診療等分の取扱い)
2 月 10 日	・ 受託病理解剖料の改定について(通知)     ・ リゾチーム塩酸塩製剤の使用にあたっての留意事項について     ・ 成人用肺炎球菌ワクチンの供給について
2 月 15 日	・ 新潟県上越市及び妙高市における大雪に関する診療報酬の請求等の取扱い等について     ・ 東日本大震災被災者への支援策の取扱い期間の延長について(お知らせ)     ・ 「医療機器の保険適用について」の一部訂正について     ・ 使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について     ・ 医療機器の保険適用について     ・ 材料価格基準の一部改正等について     ・ ヘパリンカルシウム製剤を在宅自己注射指導管理料の対象薬剤とすること等について     ・ 新潟県、青森県及び長野県の大雪による被災者に係る被保険者証等の提示等について及び被災者の公費負担医療の取扱いについて

送付日	文 書 名
2 月 17日	・ 医薬品・医療機器等安全性情報第 288号の速報について    ・ 医薬品安全管理責任者が行う従業者に対する医薬品の安全使用のための研修資料について    ・ 抗血小板剤及びプロマス エレメント スtentシステムの適正使用について    ・ 調剤報酬請求に対する審査の実施等について
2 月 20日	・ 救急救命士の処置範囲に係る実証地域の公募と研修会の開催について
2 月 22日	・ 医師免許証等の申請等について( 通知 )
2 月 23日	・ 公知申請に係る事前評価が終了し , 薬事法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて    ・ 公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて    ・ 「使用上の注意」の改訂について
2 月 24日	・ 「70歳代前半の被保険者等に係る一部負担金等の軽減特例措置実施要綱」の一部改正について    ・ 「高額療養費の外来現物給付化」に関する Q &amp; A の一部改正について
2 月 27日	・ 粉じん障害防止規則及びじん肺法施行規則の一部を改正する省令の施行について    ・ 産業保健委員会答申の送付について



て何とかノルマをこなしていきます。早く始めれば寝不足になることも、やらなくてはいけないのにやりたくないといった悶々とした気分になることもないのですが、私自身前述の通りでギリギリにならないと集中することができません。ただ試験期間中に唯一いつでも集中できるのが、試験が終わったら何をしようかと考えを巡らせることです。どこかに遠出しようとか、買い物に行ったり映画を見に行ったりしようとか、いろいろと想像して楽しんでいます。ところが実際に試験が終わると、寝不足で不健康な生活から解放されて時間がたっぷりあるにも関わらず、家に引きこもって夜通しマンガを読んだりアニメを見たり、試験期間中よりも徹夜をしてしまいます。眠くなっても、あと一話、これを見終わったら...と結局全て見終わるまで粘ってしまい、気づいたら日が昇っているのです。この粘りをあと一問覚えたら、これを解き終えたら、と勉強に発揮出来たらどんなに良いだろうと朝を迎える度に思います。春からは病院実習が始まります。試験がない一年、どうやって自主的に勉強に取り組むかが私の課題です。でも頑張った後はきっと楽しい徹夜をするでしょう。

(湯浅)

この20年間毎年欠かさず、あるバンドでコンサートを続けて来ました。大学のクラブ時代の仲間出身地は全国ばらばら、さいたま市に集まり毎年オリジナル曲を中心に演奏して来ましたが、昨年ついに最後を迎えました。作った曲にもそれぞれ思い出はありますが、本格的なスタジオでCDを作ったり、N・O・Kのバックアップでレコーディングをさせてもらったり...ふつう出来ない体験をいろいろさせて頂きました。バンドの皆に、そして続けさせてくれた家族にとっても感謝しています。

(和田)

日本の皆保険制度における医療費は、医療機関窓口での一部負担金が約14%、保険料で30%弱、合わせて4割以上が患者さん自身の負担で占められており、残りは事業主負担が20%、公費が37.9%です。平成25年からの70~74歳の2割負担はすでに決定済みのようで、形を変えた「受診時定額負担」問題の再燃にも注意が必要でしょう。またその一方で、患者のアクセスを確保した上での医療機関の機能分化と集約といった議論も、決して避けて通ることができないのかもしれませんが。

(尾田)

光陰矢の如し。県立宮崎病院から、1年の約束で引き受けた広報委員を2期4年勤めさせて頂いた。医療崩壊が叫ばれ始めた頃で、勤務医の目線から情報発信すると意気込んだが、はて成果は？ 今後は外から医師会にできる事をさせて頂き恩返ししたい。最後にひとことお願いを。子どもに金のかかる世代にとって医師会費は結構な負担。若手の勤務医に医師会加入を勧めても同じ言葉が返ってくる。何とかならないのか？ 4年間お付き合い頂いた皆様に心から感謝申し上げます。有り難うございました。

(下園)

独裁政治が大切といって大阪市長になった橋下徹氏。今度は市職員の思想調査を業務命令で実施らしい。全国紙は沈黙しているが、命令に従わなければ処分をちらつかせ、同僚の密告まで指示したというのだから、これはもう、いくらお笑い番組の出身だとは言え、冗談では済まされない。宮日が報じ

やりたいことをたくさん我慢して乗り越えなければならない大仕事、先生方は毎日お忙しい日々を過ごされていると思いますが、私たち学生にとって毎年やってくる大仕事はやはり定期試験です。試験内容が難しいことよりも、一番の悩みはどこかにいってしまっているヤル気です。最近流行りのtwiiterで私の友人は「ヤル気は売ってないだろうか」とつぶやいていました。

そんな事を言いながら、直前になれば睡眠時間を削って何とかノルマをこなしていきます。早く始めれば寝不足になることも、やらなくてはいけないのにやりたくないといった悶々とした気分になることもないのですが、私自身前述の通りでギリギリにならないと集中することができません。ただ試験期間中に唯一いつでも集中できるのが、試験が終わったら何をしようかと考えを巡らせることです。どこかに遠出しようとか、買い物に行ったり映画を見に行ったりしようとか、いろいろと想像して楽しんでいます。ところが実際に試験が終わると、寝不足で不健康な生活から解放されて時間がたっぷりあるにも関わらず、家に引きこもって夜通しマンガを読んだりアニメを見たり、試験期間中よりも徹夜をしてしまいます。眠くなっても、あと一話、これを見終わったら...と結局全て見終わるまで粘ってしまい、気づいたら日が昇っているのです。この粘りをあと一問覚えたら、これを解き終えたら、と勉強に発揮出来たらどんなに良いだろうと朝を迎える度に思います。春からは病院実習が始まります。試験がない一年、どうやって自主的に勉強に取り組むかが私の課題です。でも頑張った後はきっと楽しい徹夜をするでしょう。

(湯浅)

た世論調査では、過半数の国民が彼らの国政進出を期待しているそうであるが、TPPと同様、本当の姿を真剣に見定めないと、日本は大変なことになるであろう。

(上野)

あの大震災からあっという間に1年が経過しようとしています。政府内での重要会議の議事録が残されていないなど、信じられないミスが色々と露呈していますが、消費税問題などと相まって、とにかく日本のリーダー達に、目先のやりくりばかりに気を取られることなく長期展望に基づいた計画と責務を遂行してもらいたいものです。まさに、江戸時代の蘭学者で画家でもあります渡辺華山の「眼前の繰り廻しに百年の計を忘れるなかれ」の心境です。最後になりましたが、被災された方々の1日も早い復興を心からお祈りいたします。

(黒川)

今年の夏はロンドンオリンピックが開催されます。オリンピックは物心ついたときからいつも楽しみにしてきました。思えば、一番最初に見たのは1996年のアトランタからでした。当時まだ小学生だった私は、よくわからないままテレビで観戦していましたが、気づけば選手たちの懸命な姿に魅了され子供ながらに感動していたのを覚えています。とくにマラソンで有森裕子選手がメダルを獲得したシーンはいまだに鮮明に覚えており、あのシーンがあったからこそオリンピックを見るようになったのだと思います。今年もどんな感動が生まれるのか、今から興奮しています。

(藪内)

平成22~23年度、日医の広報委員を務めました。「日医ニュース編集WG」と「日医ホームページ検討WG」に分かれて、ニュースは紙面のブラッシュアップ、ホームページは国民や日医会員等に見やすい画面を目指してトップページのリニューアルを行いました。2年間で約20回の東京出張、先日漸く報告書を作成し、任務を終えました。全国各地の委員から刺激を受け、また日医執行部の先生方とも直接お話しでき、大変良い経験となりました。新しい日医HPをぜひご覧ください。

(荒木)

## 今月のトピックス

### 日州医談 県内 2 次医療圏毎の人口推移

高齢化といえば地方の問題と考えがちですが，国の関心事は大都市圏での高齢化対策です。土地が高く余剰地がない都市部では医療施設や介護施設の収容能力には限界があり，最近のさまざまな施策や在宅医療への誘導は人口密度の低い地方の事情をあまり考慮していません。宮崎県においても国の施策とは別に医療機関の機能分化と集約，アクセスの確保について今後の医療計画を考える必要があります。富田雄二副会長が全国および県内 2 次医療圏毎の人口推移予測データを示しつつ説明してくださいました。

4 ページ

### 国公立病院だより 県立宮崎病院

宮崎県置県以来，県民に熱望されて誕生した県立宮崎病院の歴史を創成期から昭和初期の発展期，第 2 次大戦後の復興期から戦後の発展期，そして現在に至るまでの充実期の 5 期に分けて紹介していただくとともに，県立宮崎病院としての今後の抱負と決意を病院長の豊田清一先生に述べていただきました。

18 ページ

### 診療メモ 宮崎県の地域医療を充実し，発展させるために必要なことはなにか

宮崎県の医師数の推移を年齢構成，医療圏，本県出身者で統計・分析を行い，地域枠と地域特別枠での入学状況と医学生の意識調査結果を踏まえ，「宮崎大学医学部地域医療学講座」が何を提供すべきなのか，長田直人教授が具体的に提示してくださいました。大変興味深い内容ですので是非ご一読ください。

68 ページ

日 州 医 事 第 75 号 (平成 24 年 3 月号) (毎月 1 回 10 日発行)

発行人 社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550

<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail: office@m.miyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 和田 俊朗・副 委 員 長 尾田 朋樹

委 員 下 薗 孝司，上野 満，黒川 基樹，藪内 悠貴，湯浅美紗子  
坪井 康浩，田坂 裕保，彦坂ともみ，川崎真由美，前田 雄洋

担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 荒木 早苗，済陽 英道

事 務 局 学術広報課 喜入 美香，杉田 秀博

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350 円 (但し，県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)